

平成29年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1 美術作品の収集

1 平成 29 年度新収蔵作品概要	4
2 作品収集状況	6
3 平成 29 年度新収蔵作品一覧	7
4 作品目録	9

2__1 展覧会①近美コレクション

◆〈近美コレクション〉一覧.....	10
1 そして彼らは伝説になったー20 世紀の芸術家たち 他	11
2 北海道美術 50 名作の秘密を探る 他	21
3 ワンダー☆ミュージアム 夜と出会う、夜を見る 他	30

2__2 展覧会②特別展

◆ 特別展一覧.....	38
1 大原美術館展Ⅱ	39
2 ゴッホ展 巡りゆく日本の夢	44
3 近美と協力会の 40 年	54
4 追悼特別展 高倉健	56

2__3 展覧会③貸館

◆ 貸館一覧	66
--------------	----

3 教育普及関係

1 移動美術館	67
2 夏休みワークショップ 2017.....	70
3 解説活動	71

4	博物館実習【館園実習】	73
5	近代美術館・三岸美術館・知事公館ぐるっと三館鑑賞ツアー.....	74
6	出張アート教室	75
7	ボランティアの活動	77
8	協力事業	79
9	その他	87
10	教育普及活動細目	88
4	資料・情報関係	
1	刊行物	95
2	特別観覧	96
3	情報資料	97
5	美術作品の貸し出し.....	100
6	観覧者数一覧等、その他	
1	事業日誌	101
2	名簿・委員	105
3	名簿・職員	106
4	沿革	107
5	平成 29 年度観覧者数一覧	109
6	平成 29 年度教育・情報サービス利用者一覧	110

1 美術作品の収集

1 平成 29 年度新収蔵作品概要

平成 29 年度は、26 点が新たな収蔵作品として当館のコレクションに加わった（油彩 12 点、日本画 7 点、水彩 6 点、版画 1 点）。また、資料として日本画 3 点、水彩・素描 3 点を受け入れた。このうち購入は 3 点、その他は寄贈によるものである。詳細は別表の「作品収集状況」「平成 29 年度新収蔵作品一覧」の通りであるが、この収集により作品総所蔵点数は計 5,218 点となった（資料総数は 535 点）。

今年度、当館としては平成 17 年度以来 12 年ぶりに北海道美術品取得基金の執行が認められ、3 点の作品を購入・収蔵した。

蠣崎波響の 2 点の作品は、収集方針のうち「北海道の美術」に沿うものである。蠣崎波響（1764-1826）は近世の北海道が生んだ最初の本格的な画人。江戸時代後期、松前藩家老として要職を果たしながら、精緻な描写で、優美な花鳥や豊麗な美人画を描いた。

「瀑布双鳩図」は、その署名と印章から天明年間末の制作であることがわかる、波響の画歴の中で最初期に位置する貴重な作例である。師宋紫石の影響を色濃く反映した精緻な描写を示す。

「狎鉄線花図」は、文化 10 年頃の制作。緊張感のある構図や狎の毛並みにみる流麗な筆致が画業の円熟を物語る。『書画骨董雑誌』117 号（1918）に図版掲載されたほか、『松前波響遺墨集』（1954 刊行）では、巻頭論文で西村南岳氏が本図を「最高峰の名作」と絶賛するなど、古くから波響の代表作として評価されてきた。

マルク・シャガールの版画集『出エジプト記』は、「エコール・ド・パリ」の収集方針に沿うものである。マルク・シャガール（1887-1985）は、その代表的な画家であり、独特の色彩表現と豊かな想像力に満ちた幻想的な画風で知られる。版画にも積極的に取り組み、約 2000 点にも及ぶ制作を行っているが、とりわけリトグラフにおいて数々の傑作版画を生み出した。『出エジプト記』は、旧約聖書の預言者モーセの物語を題材としたリトグラフ集。総刊行数 285 部の中でもわずか 20 部しか制作されなかった希少な和紙刷りの特別版で、非常にコンディションも良く、和紙ならではの質感と発色にすぐれた秀作である。

受贈による収蔵は 23 点。「日本近代の美術」ならびに「北海道の美術」の収集方針に沿うもので、12 名の美術家の作品・資料が収蔵された。以下、概要を紹介する。

戦前から新制作派協会や日本水彩画会を中心に水彩画の振興と普及に尽力し、画壇を牽引した中西利雄（1900-1948）。収蔵作品は、戦前、北大構内で開催された講習会の際に描か

れた貴重な作例である。

1927年に渡仏し1986年に没するまで主にパリに拠点を置いて活動した荻須高德（1901-1986）は、重厚なマチエールでパリの街角を描き出した油彩画で知られる。当館では未収蔵であったが、このたびの収蔵作品は、戦後パリに戻ってしばらく経った時期の荻須らしさをよく示す作品で、「エコール・ド・パリ」コレクションの充実にも寄与するものである。

絹谷幸二（1943 生）は、日本におけるフレスコ画の第一人者。強烈な色彩による独特のエネルギッシュな作風を展開してきた。当館には開館 25 周年を記念して制作を依頼した三部作の大作「日月燦々北海道」（2001）があるが、収蔵作品は、そのうち中央の「生命旭日北海道」の太陽のモチーフを抜き出したものである。

小樽市出身で日本近代洋画を代表する風景画家である中村善策（1901-1983）。その明るく爽やかな色彩と、独特の構図を持つ風景画は、「善策張り」と呼ばれ人気を博した。信州を取材し始めた頃の貴重な初期の作品と、故郷小樽を描いた戦後の作品の 2 点を収蔵したことにより、当館の中村善策コレクションは厚みを増すことになった。

札幌市に生まれた菊川多賀（1910-1991）は、同郷の片岡球子とともに院展を代表する女性日本画家として活躍した。人物を主な画題とし、特に古今東西のさまざまな女性像を追究しながら、悲哀や孤独など普遍的な人間感情を、力強い線描と繊細な彩色で描き出した。収蔵した 2 点の作品はいずれも最晩年の貴重な作例である。

間宮勇（1910-1976）は江別市に生まれ、道内各地で教鞭を執りながら、北海道美術協会（道展）、日本水彩画展を主な舞台として制作を続けた水彩画家である。長く後志地方で過ごし、岩内港などを題材に数々の代表作を生み出した。初期から晩年にいたる 5 点の作品を収蔵した。

深川市生まれの油彩画家・紺野修司（1933-2013）は、自由美術協会や創立に参加した主体美術協会を主な舞台として活動した。抑えられた色彩と余白を生かした緻密な構成により、静的でありながら印象深い作品を残している。当館では未収蔵であったが、晩年まで描き続けた「画室」をモチーフとした作品など代表作 3 点を収蔵することができた。

札幌市出身の日本画家・菊川多賀の姪である三織子（1944 生）は、多賀と同じく堅山南風に師事して、絵の道に入った。一貫して人物像を主題として研鑽を積み、日本美術院を舞台として活躍している。画業を代表する展覧会出品作 2 点が初収蔵となった。

全道美術協会（全道展）、新制作展、安井賞展などを中心に活動してきた油彩画家・瀬戸英樹（1940 生）は、現在は道南地方の農村や漁村を細密に描写した、独特な叙情を持つ作品を制作、個展を通じて発表し続けている。幻想的な作風を示す初期の作品から近年のパノラマ風な視点で風景を捉えた大作まで 5 点の作品を収蔵した。

このほか、資料として、蠣崎波響追隨の周辺の作とも推定される日本画 3 点、道展創立時に唯一の女性会員として参加した日本画家・平沼深雪（1898-1961）のスケッチブックと色紙、藤田嗣治直筆の手紙、封筒などを収蔵した。

（当館学芸部長 苫名 真）

2 作品収集状況

分野	平成28年度末 作品所蔵数		平成29年度作品収集数				平成29年度末 作品所蔵総数		資料		
			購入	受贈	管理換	計			平成28年度末 資料所蔵数	平成29年度末 資料収集数	平成29年度末 資料所蔵総数
油彩	784点	(15.1%)	0点	12点	0点	12点	796点	(15.2%)	88点	0点	88点
日本画	259	(5.0%)	2	5	0	7	266	(5.1%)	17	3	20
水彩・素描	322	(6.2%)	0	6	0	6	328	(6.3%)	210	3	213
版画	1,742	(33.6%)	1	0	0	1	1,743	(33.4%)	72	12	84
彫刻	108	(2.1%)	0	0	0	0	108	(2.1%)	14	0	14
工芸	1,695	(32.6%)	0	0	0	0	1,695	(32.5%)	96	0	96
デザイン	231	(4.4%)	0	0	0	0	231	(4.4%)	18	0	18
写真	51	(1.0%)	0	0	0	0	51	(1.0%)	2	0	2
合計	5,192	(100.0%)	3	23	0	26	5,218	(100.0%)	517	18	535

3 平成29年度新収蔵作品一覧

購入作品一覧

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2017024	油彩	蠣崎 波響	瀑布双鳩図	1788(天明末)頃	絹本彩色 軸	88.2×33.2
2017025	油彩	蠣崎 波響	狛鉄線花図	1813(文化10)頃	絹本彩色 軸	44.3×65.6
2017026	版画	マルク・シャガール	出エジプト記	1966(刊行)	リトグラフ・和紙(24点組)	50.0×37.0 (23点) 50.0×74.0 (1点)

受贈作品一覧

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2017001	油彩	荻須 高德	薪炭屋	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	58.8×70.2
2017002	油彩	絹谷 幸二	生命旭日(北海道礼讃)	2002(平成14)	ミクストメディア・キャンバス	60.5×72.8
2017003	油彩	紺野 修司	黒への褐色	1985(昭和60)	油彩・キャンバス	130.3×162.0
2017004	油彩	紺野 修司	私の風景—86	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	162.0×194.0
2017005	油彩	紺野 修司	喪の記	2006(平成18)	油彩・キャンバス	119.8×94.0
2017006	油彩	瀬戸 英樹	車の中の人形	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	130.2×172.2
2017007	油彩	瀬戸 英樹	人形の旅	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	194.0×130.0
2017008	油彩	瀬戸 英樹	群落(イエツツェンドルフ)	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	181.7×227.4
2017009	油彩	瀬戸 英樹	網干す浜	1993(平成5)	油彩・キャンバス	130.3×388.0
2017010	油彩	瀬戸 英樹	干草の棚	2009(平成21)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
2017011	油彩	中村 善策	夏	1941(昭和16)	油彩・キャンバス	145.5×112.1
2017012	油彩	中村 善策	カムイコタン夏日	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	112.1×145.5
2017013	日本画	菊川 多賀	還生譜	1987(昭和62)	紙本彩色・額	181.0×188.0
2017014	日本画	菊川 多賀	華	1989(平成元)	紙本彩色・額	172.5×179.0
2017015	日本画	菊川 三織子	風	1984(昭和59)	紙本彩色・額	150.0×75.0
2017016	日本画	菊川 三織子	南国の華	2000(平成12)	紙本彩色・額	150.0×75.0
2017017	日本画	菊川 三織子	三輪山の譜	2004(平成16)	紙本彩色・額	210.0×168.0
2017018	水彩・素描	中西 利雄	札幌の夏(北大構内)	1939(昭和14)	水彩・紙	36.5×55.5
2017019	水彩・素描	間宮 勇	北大の一廓	1936(昭和11)	水彩・紙	58.0×74.0
2017020	水彩・素描	間宮 勇	救難所風景	1939(昭和14)	水彩・紙	52.0×70.0
2017021	水彩・素描	間宮 勇	つなぎ船	1949(昭和24)	水彩・紙	48.5×67.0
2017022	水彩・素描	間宮 勇	凍れる河港	1971(昭和46)	水彩・紙	55.0×75.0
2017023	水彩・素描	間宮 勇	河口早春(余市港)	1973(昭和48)	水彩・紙	54.0×73.0

受贈作品一覧(資料扱い)

番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
シ00518	日本画	落款:波響	朝顔金鶏図		絹本彩色・軸	101.0×41.5
シ00519	日本画	落款:波響	松孔雀図		絹本彩色・軸	109.8×41.5
シ00520	日本画	落款:波響	牡丹孔雀図		絹本彩色・軸	101.0×41.5
シ00521	水彩・素描	平沼 深雪	(スケッチブック)	1918(大正7)	水彩・紙	30.5×22.5
シ00522	水彩・素描	平沼 深雪	(色紙)	1919(大正8)	墨、水彩・紙	21.0×18.0
シ00523	水彩・素描	藤田 嗣治	(手紙、封筒)	1953 ほか	ペン、水彩・紙	手紙10葉、封筒2枚

組み替え作品一覧(資料扱い)

番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
シ00524	版画	藤田 嗣治	詩数篇	出版年:1919	銅版、木版・紙	21.0×14.7×0.4
シ00525	版画	藤田 嗣治	ポーゾル王の冒険	出版年:1925	銅版、木版・紙	23.9×19.2×1.6
シ00526	版画	藤田 嗣治	八景	出版年:1927	銅版、木版・紙	26.2×20.4×2.7
シ00527	版画	藤田 嗣治	静御前	出版年:1929	銅版、木版・紙	19.2×14.5×1.0
シ00528	版画	藤田 嗣治	ユキの打ち明け話	出版年:1957	銅版、木版・紙	19.9×14.8×2.4
シ00529	版画	藤田 嗣治	東方所観		銅版、木版・紙	19.5×13.5×1.5
シ00530	版画	ジュル・パスキン	ある夏	出版年:1920	印刷、手彩色・紙	35.6×26.2×1.0
シ00531	版画	ジュル・パスキン	パリの灯	出版年:1925	印刷・紙	20.5×15.3×2.3
シ00532	版画	ジュル・パスキン	夜とざす(ed. no. 316)	出版年:1925	エッチング、印刷・紙	24.8×20.4×2.7
シ00533	版画	ジュル・パスキン	夜とざす(ed. no. 194)	出版年:1925	エッチング、印刷・紙	25.0×20.1×2.5
シ00534	版画	ジュル・パスキンほか	ジンブリツイシムス	出版年:1910	リトグラフ、印刷・紙	38.8×28.8
シ00535	版画	J・J・グランヴィル	生きている花々	出版年:初版1847	印刷、手彩色・紙	20.5×15.3×2.3

※寸法は、平面作品が縦×横×厚さ、書籍が縦×横×厚さ。

4 作品目録

凡例

- 1. この目録には、平成29年4月1日から平成30年3月31日までに、北海道立近代美術館に収蔵された作品を収録した。
- 2. 各作品は次の分類に基づいて掲載した。
 - 1 エコール・ド・パリ
 - 2 北海道の美術
 - 3 日本近代の美術
- 3. 北海道の美術は、北海道出身または北海道に居住した作家、および北海道を制作の拠点とした作家をもってこれにあてた。
- 4. 作者名は各分類ごとに、50音順に配列した。同一作家の作品が2点以上ある場合は、各分野ごとに制作年順に配列した。
- 5. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。
 - 作者名、生没年、作品名、制作年、技法・材質・形状、寸法、収集の経緯、作品番号。
- 6. 制作年は作品に明記されているもの、制作事情のはっきりしているもののほか、展覧会発表の年をとって制作年とみなしたものがある。
- 7. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

1 エコール・ド・パリ Ecole de Paris

1	シャガール、マルク CHAGALL Marc	1887～1985	出エジプト記 Exodus	1966(刊行)	リトグラフ・和紙 24点組	50.0×37.0(23点) 50.0×74.0(1点)	購入(平成29年度)	2017026
---	---------------------------	-----------	------------------	----------	------------------	---------------------------------	------------	---------

2 北海道の美術 Hokkaido Art

2	紺野 修司 KONNO Shuji	1933～2013 (昭和8～平成25)	黒への褐色 Brown into Black	1985(昭和60)	油彩・キャンバス	130.3×162.0	受贈(平成29年度)	2017003
3	紺野 修司 KONNO Shuji	1933～2013 (昭和8～平成25)	私の風景—86 Landscape—86	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	162.0×194.0	受贈(平成29年度)	2017004
4	紺野 修司 KONNO Shuji	1933～2013 (昭和8～平成25)	喪の記 Mourning	2006(平成18)	油彩・キャンバス	119.8×94.0	受贈(平成29年度)	2017005
5	瀬戸 英樹 SETO Hideki	1940～ (昭和15～)	車の中の人形 Doll on the Carriage	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	130.2×172.2	受贈(平成29年度)	2017006
6	瀬戸 英樹 SETO Hideki	1940～ (昭和15～)	人形の旅 Doll's Travel	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	194.0×130.0	受贈(平成29年度)	2017007
7	瀬戸 英樹 SETO Hideki	1940～ (昭和15～)	群落(イエッツェンドルフ) Jetzendorf	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	181.7×227.4	受贈(平成29年度)	2017008
8	瀬戸 英樹 SETO Hideki	1940～ (昭和15～)	網干す浜 Beach with Fishing Nets	1993(平成5)	油彩・キャンバス	130.3×388.0	受贈(平成29年度)	2017009
9	瀬戸 英樹 SETO Hideki	1940～ (昭和15～)	干草の棚 Hay in a Shed	2009(平成21)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	受贈(平成29年度)	2017010
10	中村 善策 NAKAMURA Zensaku	1901～1983 (明治34～昭和58)	夏 Summer	1941(昭和16)	油彩・キャンバス	145.5×112.1	受贈(平成29年度)	2017011
11	中村 善策 NAKAMURA Zensaku	1901～1983 (明治34～昭和58)	カムイコタン夏日 Summer in the Kamuikotan	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	受贈(平成29年度)	2017012
12	蠣崎 波響 KAKIZAKI Hakyo	1764～1826 (文政9～明和元)	瀑布双鳩図 Two Pigeons with a Waterfall	1788(天明末)頃	絹本彩色・軸	88.2×33.2	購入(平成29年度)	2017024
13	蠣崎 波響 KAKIZAKI Hakyo	1764～1826 (文政9～明和元)	狹鉄線花園 Japanese Spaniel with Clematises	1813(文化10)頃	絹本彩色・軸	44.3×65.6	購入(平成29年度)	2017025
14	菊川 多賀 KIKUKAWA Taka	1910～1991 (平成3～明治43)	還生譜 Reincarnation	1987(昭和62)	紙本彩色・額	181.0×188.0	受贈(平成29年度)	2017013
15	菊川 多賀 KIKUKAWA Taka	1910～1991 (平成3～明治43)	華 A Woman's Life	1989(平成元)	紙本彩色・額	172.5×179.0	受贈(平成29年度)	2017014
16	菊川 三織子 KIKUKAWA Mioko	1944～ (昭和19～)	風 Wind	1984(昭和59)	紙本彩色・額	150.0×75.0	受贈(平成29年度)	2017015
17	菊川 三織子 KIKUKAWA Mioko	1944～ (昭和19～)	南国の華 Girl in a Southern Country	2000(平成12)	紙本彩色・額	150.0×75.0	受贈(平成29年度)	2017016
18	菊川 三織子 KIKUKAWA Mioko	1944～ (昭和19～)	三輪山の譜 Women in Miwayama	2004(平成16)	紙本彩色・額	210.0×168.0	受贈(平成29年度)	2017017
19	間宮 勇 MAMIYA Isamu	1910～1976 (昭和51～明治43)	北大の一廊 Landscape of Hokkaido University	1936(昭和11)	水彩・紙	58.0×74.0	受贈(平成29年度)	2017019
20	間宮 勇 MAMIYA Isamu	1910～1976 (昭和51～明治43)	救難所風景 Landscape with a Rescue Place	1939(昭和14)	水彩・紙	52.0×70.0	受贈(平成29年度)	2017020
21	間宮 勇 MAMIYA Isamu	1910～1976 (昭和51～明治43)	つなぎ船 Boats	1949(昭和24)	水彩・紙	48.5×67.0	受贈(平成29年度)	2017021
22	間宮 勇 MAMIYA Isamu	1910～1976 (昭和51～明治43)	凍れる河港 Frozen Port	1971(昭和46)	水彩・紙	55.0×75.0	受贈(平成29年度)	2017022
23	間宮 勇 MAMIYA Isamu	1910～1976 (昭和51～明治43)	河口早春(余市港) Port in Spring(Yoichi Port)	1973(昭和48)	水彩・紙	54.0×73.0	受贈(平成29年度)	2017023

3 日本近代の美術 Japanese modern Art

24	荻須 高德 OGUSSI Takanori	1901～1986 (明治34～昭和61)	薪炭屋 Firewood and Coal Store	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	58.8×70.2	受贈(平成29年度)	2017001
25	網谷 幸二 KINUTANI Koji	1943～ (昭和18～)	生命旭日(北海道礼讃) Life and the Rising Sun	2002(平成14)	ミクストメディア・キャンバス	60.5×72.8	受贈(平成29年度)	2017002
26	中西 利雄 NAKANISHI Toshio	1900～1948 (明治33～昭和23)	札幌の夏(北大構内) Summer in Sapporo (Hokkaido University)	1939(昭和14)	水彩・紙	36.5×55.5	受贈(平成29年度)	2017018

2_1 展覧会①近美コレクション

◆〈近美コレクション〉一覧

展覧会名	開催期間	開催日数	同時開催
1 ワンダー☆ミュージアム2017 キャッチ・ザ・カラーズ 色をつかまえろ！	2016(平成28)11月23日(水・祝)～ 2017(平成29)4月9日(日)	8日 *年度内	冬から春の名品選—デューラーとレンブラントの版画他 この1点を見てほしい。 —青山 熊治《アイヌ》(11/23-2/2) —鹿子木 孟郎《裸婦》(2/3-4/9)
2 開館40周年記念 近美コレクション第Ⅰ期名品選 そして彼らは伝説になった —20世紀の芸術家たち	2017(平成29)年 4月22日(土)～8月15日(火)	91日	小樽芸術村×近美ガラスコレクション 華やぐ光と彩り 新収蔵品展 この1点を見てほしい。 —エミール・ガレ《蜂文花器》(4/22-6/11) —山内 壮夫《戦歿学生長恨碑》(6/22-8/15)
3 開館40周年記念 近美コレクション第Ⅱ期名品選 北海道美術50 名作の秘密を探る	8月26日(土)～11月7日(火)	64日	北海道の陶芸 新たなる炎の挑戦 幕末から現代まで ふれるかたち この1点を見てほしい。 —寺島 春雄《黒い勲章の行進》(8/26-10/3) —池谷 寅一《初秋小憩》(10/4-11/7)
4 開館40周年記念 ワンダー☆ミュージアム 夜と出会う、夜を見る	11月22日(水)～ 2018(平成30)年4月12日(木)	107日 *年度内	開館40周年記念第Ⅲ期名品選 キスリング《オランダの娘》他 この1点を見てほしい。 —中西 利雄《教会の見える風景》(11/22-2/2) —エミール・オルリック《日本の画家、彫師、摺師》 (2/3-4/12)

1 開館 40 周年記念 近美コレクション第 I 期名品選

そして彼らは伝説になった—20 世紀の芸術家たち

(同時開催／小樽芸術村×近美ガラスコレクション 華やぐ光と彩り、新収蔵品展、この 1 点を見てほしい。)

会 期：平成 29 年 4 月 22 日(土)～8 月 15 日(火)

会 場：北海道立近代美術館 展示室 A

主 催：北海道立近代美術館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

そして彼らは伝説になった—20 世紀の芸術家たち

Legendary Artists of the 20th Century

開館 40 周年を記念する今年度の第 I 期名品選では、1920 年代を中心としたヨーロッパと日本の画家の名品を紹介する特別展「大原美術館展Ⅱ」(～6 月 11 日)と連動し、当館所蔵のエコール・ド・パリの芸術家たちや同時代の日本・北海道の作家たちの秀作により、20 世紀前半の美術の多彩な様相を紹介した。

小樽芸術村×近美ガラスコレクション 華やぐ光と彩り

Sparkling light and Colors: Glass from the Otaru Art Base and our Collection

小樽芸術村は、株式会社ニトリの美術コレクションを展示する施設として、2016(平成 28)年 7 月にオープンした。本展では、そのコレクションから、ガレやドーム、ルソーといった、アール・ヌーヴォー期からアール・デコ期に活躍したガラス造形作家の作品を、当館所蔵の同作家、あるいは同時期に活躍した作家作品とともに展示した。

新収蔵品展

New Acquisitions

2015(平成 27)年に当館で開催した「淡島雅吉展」に出品された作品を中心に、遺族から寄贈された淡島雅吉のガラス作品のほか、荒井龍男、亀山良雄の油彩、岩橋英遠の日本画、小柴外一のガラス、栗谷川健一のポスターおよびポスター原画等を展示。あわせて、寄託作品として、現在北海道壮瞥町にアトリエを構え、当館でも 2007(平成 19)年に個展を開催した野田弘志の作品を展示した。

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

エミール・ガレ《蜂文花器》 4月22日（土）～6月11日（日）

山内 壮夫《戦歿学生長恨碑》 6月22日（木）～8月15日（火）

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社クリエート工房

●広報印刷物

ポスター／B2判

チラシ／A4判

印刷：（株）さんけい

デザイン：佐藤守功デザイン事務所

●出品目録

A3判4頁（当館簡易印刷）

●関連事業

[ミュージアム・トーク] 会場はいずれも展示室A

日時：4月23日（土） 14時～14時30分

講師：地家 光二（当館学芸部長）

日時：4月30日（土） 14時～14時30分

講師：佐藤 幸宏（当館学芸副館長）

日時：5月7日（土） 14時～14時30分

講師：大下 智一（当館主任学芸員）

日時：5月14日（土） 14時～14時30分

講師：門間 仁史（当館学芸員）

日 時：5月21日（土） 14時～14時30分
講 師：大下 智一（当館主任学芸員）

日 時：5月28日（土） 14時～14時30分
講 師：森本 陽香（当館学芸員）

日 時：6月4日（土） 14時～14時30分
講 師：五十嵐聡美（当館普及情報課長）

日 時：6月11日（土） 14時～14時30分
講 師：松山 聖央（当館学芸員）

日 時：6月25日（土） 14時～14時30分
講 師：松山 聖央（当館学芸員）

日 時：7月2日（土） 14時～14時30分
講 師：穂積 利明（当館主任学芸員）

日 時：7月9日（土） 14時～14時30分
講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）

日 時：7月16日（土） 14時～14時30分
講 師：五十嵐聡美（当館普及情報課長）

日 時：7月23日（土） 14時～14時30分
講 師：佐藤 幸宏（当館学芸副館長）

日 時：7月30日（土） 14時～14時30分
講 師：寺地 亜衣（当館学芸員）

日 時：8月6日（土） 14時～14時30分
講 師：鎌田 享（当館展示・作品課長）

日 時：8月13日（土） 14時～14時30分
講 師：寺地 亜衣（当館学芸員）

[子ども鑑賞ツアー]

日 時：5月13日（土）、6月10日（土）、7月8日（土）、8月12日（土）
11時～11時30分

会 場：展示室A（小中学生は無料）

案 内：当館学芸員

そして彼らは伝説になった ―20世紀の芸術家たち 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	能勢 真美	青い鳥	1926(大正15)	油彩・キャンバス	116.3×72.0
2	上野山清貢	ある夜	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	127.0×95.9
3	三岸好太郎	見物客	1933(昭和8)	カラー・ジュ・紙	29.4×38.5
4	小山 昇	摩周湖	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	88.0×140.0
5	菊地 精二	輪転機	1933(昭和8)	油彩・キャンバス	80.3×100.0
6	藤田 嗣治	フランス娘	1945(昭和20)頃	木版・紙	39.2×26.0
7	藤田 嗣治	猫	1934(昭和9)	墨、水彩・絹	42.0×28.5
8	藤田 嗣治	「平和の聖母礼拝堂」ステンドグラス:聖チェチリア	オリジナル:1966 再制作:2008	ガラス、鉛	140.2×65.0
9	工藤 三郎	室内風景	1920-23(大正9-12)	油彩・キャンバス	80.0×64.2
10	工藤 三郎	教会堂のある風景	1920-23(大正9-12)	油彩・キャンバス	80.3×60.6
11	工藤 三郎	ピアンクール(セーヌ河)	1920(大正9)	油彩・キャンバス	130.0×162.0
12	中西 利雄	教会の見える風景	1930(昭和5)	水彩・紙	54.0×70.0
13	碓 伊之助	フランスの田舎娘	1928(昭和3)	木版・紙	36.6×27.8
14	碓 伊之助	ふした女	1928(昭和3)頃	木版・紙	26.5×38.7
15	高島達四郎	丘からの眺め	1923(大正12)	油彩・キャンバス	90.5×73.0
16	岡田 謙三	野外習作	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	127.4×191.4
17	小寺 健吉	水辺	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	192.5×162.5
18	岩船 修三	フランス小町一隅(城門)	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	162.0×130.0
19	山田 正	南仏風景	1930(昭和5)頃	油彩・キャンバス	60.6×72.7
20	山田 正	南仏サブレ	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	73.0×90.0
21	山田 正	村の道	1930-33(昭和5-8)頃	油彩・キャンバス	59.0×71.5
22	三雲祥之助	サンシール・ラ・ポピー風景	1930(昭和5)頃	油彩・キャンバス	49.2×60.6
23	国吉 康雄	横たわる裸婦	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	101.6×203.2
24	ジュール・パスキン	裸婦の構図	1915	油彩・キャンバス	40.0×55.0
25	ジュール・パスキン	キュビスト風の女性像	1916	水彩・紙	24.1×12.9
26	ジュール・パスキン	男たち	1917	油彩・キャンバス	55.0×60.0
27	ジュール・パスキン	みづくろいする女	1917	油彩・キャンバス	55.0×60.0
28	ジュール・パスキン	肘掛け椅子のモデル	1925	油彩・キャンバス	54.6×45.7
29	ジュール・パスキン	腰かける女	1928	油彩・キャンバス	76.0×63.0
30	ジュール・パスキン	花束をもつ少女	1925-26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
31	ジュール・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩・キャンバス	92.0×73.0
32	ジュール・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩・キャンバス	81.0×100.0
33	ジュール・パスキン	ジナとルネ	1928	油彩・キャンバス	90.5×71.3
34	ジュール・パスキン	女の背中	1920	ブロンズ	12.5×25.1×9.8
35	エルミーヌ・ダヴィッド	森の散歩道	1922頃	油彩・キャンバス	58.5×71.5
36	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩・キャンバス	73.0×92.0
37	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外一二匹の白い犬	1921	油彩・紙・ボード	54.5×65.0
38	ペール・クロード	肘掛け椅子の女	1925	油彩・キャンバス	81.0×60.0
39	ペール・クロード	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩・キャンバス	92.0×60.0
40	ジョルジュ・ルオー	聖なる顔	1939	油彩・紙	56.0×41.0
41	ハイム・スーチン	祈る男	1921頃	油彩・キャンバス	94.0×51.0
42	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	73.5×61.0
43	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩・キャンバス	130.5×97.5
44	アンドレ・ドラク	裸婦	1928-29	油彩・キャンバス	92.4×72.4
45	キスリング	裸婦	1926	油彩・キャンバス	73.5×54.8
46	キスリング	籠, パイナップル, リンゴ, メロン	1922	油彩・キャンバス	100.0×81.0
47	キスリング	サン＝ジェルマン風景	1914	油彩・キャンバス	92.0×73.0
48	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り(セーヌ)	1910頃	油彩・キャンバス	57.5×79.3
49	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914頃	油彩・ボード	46.0×60.0
50	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	1920年代頃	油彩・キャンバス	73.5×93.0
51	パブロ・ピカソ	夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス	1934	アクアチント、スクレーパー、ドライポイント、 エングレーヴィング・紙	24.7×34.7

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
52	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』燕	刊行:1961	リトグラフ・紙	54.0×75.5
53	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』クロエのくちづけ	刊行:1961	リトグラフ・紙	54.0×75.5
54	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』メガクレースはクロエが自分の娘であることを宴の間に気がつく	刊行:1961	リトグラフ・紙	54.0×76.3
55	モーリス・ド・ヴラマンク	『パリ1937』ジョルジュ・デュアメル「モンターニュ・サント・ジュヌヴィエーヴ」挿画	1937	エッチング・紙	35.0×27.3(本)
56	エルミース・ダヴィッド	『パリ1937』ポール・クローデル「パリの教会」挿画	1937	エッチング・紙	35.0×27.3(本)
57	キース・ヴァン・ドンゲン	『パリ1937』ジャン＝ルイ・ヴォドワイエ「公園と二つの通り」挿画	1937	エッチング・紙	35.0×27.3(本)
58	マリー・ローランサン	『パリ1937』アベル・ボナール「パリの公園」挿画	1937	エッチング・紙	35.0×27.3(本)
59	モイズ・キスリング	『パリ1937』レオン＝ポール・ファルグ「モンパルナス」挿画	1937	エッチング・紙	35.0×27.3(本)
60	アンドレ・ドラン	『パリ1937』ビエール・シャンピオン「第6区」挿画	1937	エッチング・紙	35.0×27.3(本)

平面作品が縦×横、立体作品が縦×横×高

※No. 3は北海道立三岸好太郎美術館蔵、他はすべて当館蔵。

「小樽芸術村×近美 ガラスコレクション 華やぐ光と彩り」出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法・材質	作品寸法 (高さ×径または高さ×幅×奥行きcm)
1 エミール・ガレ	楓文ランプ		ガラス:被せガラス	57.0×37.0
2 エミール・ガレ	カマキリ文トレイ	1875-1885	ガラス:エナメル金彩	5.5×17.8×28.2
3 エミール・ガレ	カマキリ文皿	1880代	ガラス:宙吹き、エナメル彩、金彩	11.7×6.8×3.7
4 エミール・ガレ	カマキリ文花器	1880代	ガラス:エナメル彩、金彩	24.5×19.4×33.0
5 エミール・ガレ	昆虫文双耳花器	1880代	ガラス:エナメル彩、金彩、金箔溶着	12.8×22.7
6 エミール・ガレ	鯉文花器	1878頃	ガラス:型吹き、エナメル彩	22.8×28.5
7 エミール・ガレ	エナメル彩カボション付花文花器		ガラス:エナメル金彩、カボション	58.5×19.5
8 エミール・ガレ	アザミ文花器	1890頃	ガラス:エナメル彩、カボション	6.0×17.0
9 エミール・ガレ	浜木綿文花器	1900頃	ガラス:エッチング、金彩、エナメル彩	9.5×31.0
10 エミール・ガレ	蓮文花器	1897-98頃	ガラス:被せガラス、金属酸化物による斑文、エッチング、エングレーヴィング	12.7×32.0
11 エミール・ガレ	蓮文花器	1900	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	15.0×18.7
12 エミール・ガレ	ヤドリギ文花器	1900頃	ガラス:被せガラス、エッチング	15.6×34.2
13 ガレ工房	こぶし文扁壺	1904-14頃	ガラス:被せガラス、エッチング	19.5×34.0×43.0
14 ガレ工房	プラム文花器	1925-30頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	27.2×32.5
15 ガレ工房	風景文花器	1904-14頃	ガラス:被せガラス、エッチング	12.6×15.8×35.8
16 ガレ工房	風景文舟形花器	1918-31頃	ガラス:被せガラス、エッチング	7.0×18.0×13.5
17 ガレ工房	湖水風景文花器	1920代	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	31.5×67.0
18 ドーム&マジョレル	オンベルメッキブロンズ台ランプ		ガラス、ブロンズ	48.0×23.0
19 ドーム	ランプ	1920代	ガラス、金属:ヴィトリフィカシオン	35.2×51.0
20 ドーム	金彩エナメルシクラメン文彫り手付花器		ガラス:アププリケ、エナメル彩、金彩、被せガラス、エングレーヴィング	26.5×15.4
21 ドーム	野菊文花器	1900-10頃	ガラス:ヴィトリフィカシオン、被せガラス、エッチング、カボション	14.0×38.0
22 ドーム	エンジェルトラネット文花器		ガラス:金彩、エナメル彩、被せガラス、エングレーヴィング	59.0×16.0
23 ドーム	クロッカス文花器	1904-14頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング	12.3×30.2
24 ドーム	孔雀文花器	1914頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチング、色ガラス溶着	12.5×18.5
25 ドーム	マロニエ文花器	1907-10頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング	15.0×36.5
26 ドームとルイ・マジョレル	鉄棒吹込花器	1922頃	ガラス:斑文ガラス、鉄棒吹込み	27.5×26.0
27 ドームとルイ・マジョレル	鉄棒吹込花器	1922頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、鉄棒吹込	22.1×28.5
28 ガブリエル・アルジィ=ルソー	シダ文花器		ガラス:型吹き、被せガラス	19.5×19.0×13.0
29 ガブリエル・アルジィ=ルソー	花文花器		ガラス:型吹き	22.0×10.8
30 ガブリエル・アルジィ=ルソー	ばら文花器	1922	ガラス:パート・ド・ヴェール	16.0×22.0
31 ガブリエル・アルジィ=ルソー	あざみ文鉢	1922	ガラス:パート・ド・ヴェール	12.0×9.6
32 ガブリエル・アルジィ=ルソー	花文鉢	1930	ガラス:パート・ド・ヴェール	12.0×9.9
33 ガブリエル・アルジィ=ルソー	花文ランプ	1920代	ガラス、鉄:パート・ド・ヴェール	12.0×35.0
34 ヴェルリー	金魚文ジャルディニエール		ガラス:オバルセントガラス、型吹き	12.0×45.0×19.5
35 マリウス=エルネスト・サビノ	うにに昆布文皿	1920代	ガラス:彩色、型押し	30.0×7.2
36 ルネ・ラリック	花器・パッカスの巫女	型:1927	ガラス:型押し	21.0×24.9

37	マリウス＝エルネスト・サビノ	小鳥たち		ガラス:オバルセントガラス、型吹き	19.0×21.0×7.0
38	ルネ・ラリック	花器・バット	型:1913	ガラス:型吹き、着彩	26.5×28.0
39	ルネ・ラリック	花器・いばら	型:1921	ガラス:型吹き	12.0×23.0
40	ルネ・ラリック	花器—蛇	1924	ガラス:型吹き	25.8×28.0
41	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・5頭の馬	型:1925	ガラス:型押し	6.7×15.2×13.1
42	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・孔雀の頭	型:1928	ガラス:型押し	9.8×14.0×20.2
43	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・勝利	型:1928	ガラス:型押し	11.7×25.0×19.3
44	ドーム	花器	1930代	ガラス:エッチング	34.2×34.3
45	ドーム	樹木文花器	1935	ガラス:型吹き、エッチング	27.0×27.0
46	ドーム	鹿文花器	1925～30頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	33.0×39.5

※no. 1, 2, 7, 18, 20, 22, 28, 29, 34, 37は小樽芸術村蔵。それ以外はすべて当館蔵。

新収蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	荒井 龍男	静寂	1934-36(昭和9-11)	油彩・キャンバス	73.0×100.0
2	荒井 龍男	白い掌	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	99.8×80.4
3	荒井 龍男	むうんらいと・そなた	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	53.0×80.3
4	荒井 龍男	山脈	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	89.5×145.5
5	荒井 龍男	レダ	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	80.3×100.0
6	淡島 雅吉	しづくガラス 置物・河豚	1943(昭和18)頃	型吹き、サンドブラスト	16.3×13.1×11.7
7	淡島 雅吉	ビトモール 花器		型吹き	13.0×20.6×32.5
8	淡島 雅吉	しづくガラス 花器	1970(昭和45)	型吹き	14.6×19.6×20.3
9	淡島 雅吉	プロット 花器		鉄枠吹き込み	24.3×25.2×42.9
10	淡島 雅吉	ブローランタン ランタン		鉄枠吹き込み	17.1×16.3×20.9 本体 12.8×19.6×37.2 金具
11	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.2×7.4×6.7
12	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.3×6.7×7.0
13	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.2×7.6×6.7
15	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.2×7.4×6.3
14	淡島 雅吉	花器		宙吹き 一対	9.8×17.6×18.0 8.8×17.0×28.2
16	小柴 外一	ねぎぼうず 花瓶	型：昭和初期	型押し	17.0×17.0×25.5
17	小柴 外一	せみ 大皿	型：昭和初期	型押し	24.5×24.5×6.5
18	野田 弘志	THE-8	2003-07(平成15-19)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
19	亀山 良雄	迷彩の女	1982(昭和57)	油彩・キャンバス	45.0×37.3
20	亀山 良雄	閑日	1989(平成元)	油彩・キャンバス	72.5×116.5
21	栗谷川健一	北海道へ(原画)	1930後半-40代(昭和15-24頃)	ポスターカラー・紙	106.0×75.0
22	栗谷川健一	夏ひらく	1939(昭和14)	リトグラフ・紙	103.0×72.8
23	栗谷川健一	大雪山国立公園白金温泉 十勝岳観光荘		オフセット・紙	103.0×72.8
24	岩橋 英遠	游鯉	1937-40(昭和12-15)	絹本着彩 軸	43.1×51.9

※寸法は、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さ。

※作品はno. 18は受託、その他はすべて当館蔵。

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	展示期間
1	エミール・ガレ	蜂文花器	1900頃	ガラス:型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	10.8×24.7	4月22日(土)～ 6月11日(日)
2	エミール・ガレ	蜂文花器のためのデッサン	1890頃	インク・紙		
3	エミール・ガレ	鳥文蓋物	1900-1905頃	ガラス:被せガラス、エッチング	9.5×15.0	
4	J・J・グランヴィル	生きている花々	出版:1847	挿画本	20.5×15.3×2.3	6月22日(木)～ 8月15日(火)
5	山内壮夫	戦歿学生長恨碑	1949(昭和24)	石膏 *展示	40.0×80.0×76.0	

※寸法は、平面作品は縦×横、本は縦×横×厚さ、立体作品は径×高さ、あるいは幅×奥行き×高さ

※作品はすべて当館蔵。

2 開館 40 周年記念 近美コレクション第Ⅱ期名品選

北海道美術 50 名作の秘密を探る

(同時開催／北海道の陶芸 新たなる炎の挑戦 幕末から現代まで、ふれるかたち、この 1 点を見てほしい。)

会 期：平成 29 年 8 月 26 日(土)～11 月 7 日(火)

会 場：北海道立近代美術館 展示室 A

主 催：北海道立近代美術館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

北海道美術 50 名作の秘密を探る

Fifty Masterpieces of Art from Hokkaido

北海道立近代美術館は、1973 (昭和 48) 年の美術館開設準備室発足、1977 (昭和 52) 年 7 月の開館から今年で 40 年を数える。さらには北海道出身の洋画家三岸好太郎の作品受贈を契機として設立され、北海道の美術館の出発点となった北海道立美術館の開館から 50 年にあたる。この節目の年に、当館および三岸好太郎美術館のコレクションのなかから、北海道ゆかりの作品 50 点を選び、見どころや作品にまつわる秘密などを盛り込んで紹介する書籍が出版された。本展はその『北海道美術 50』に合わせ、江戸後期から現代までの日本画、油彩画、版画、彫刻などを展示した。

北海道の陶芸 新たなる炎の挑戦 幕末から現代まで

Ceramic Art of Hokkaido

幕末期の箱館焼から現代の陶芸作家まで、65 点の作品によって、北海道の陶芸の歩みを紹介した。

ふれるかたち

Touching Sculptures

彫刻や立体作品を手で触れて鑑賞する展覧会。視覚に障害を持つ方にも美術作品をより楽しんでいただくとともに、幅広い年齢層の晴眼者をも視覚にとどまらない作品へのアプローチへ誘うことをねらった。佐藤忠良、流政之、安田侃など 7 点を展示。

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

寺島 春雄《黒い勲章の行進》 8月26日（土）～10月3日（火）

池谷 寅一《初秋小憩》 10月4日（水）～11月7日（火）

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社クリエート工房

●広報印刷物

ポスター／B2判

チラシ／A4判

印刷：三浦印刷株式会社

デザイン：中西出版株式会社

●出品目録

A3判4頁（当館簡易印刷）

●関連事業

[ミュージアム・トーク] 会場はいずれも展示室A

日時：8月27日（土） 14時～14時30分

講師：五十嵐聡美（当館普及情報課長）

日時：9月3日（土） 14時～14時30分

講師：松山聖央（当館学芸員）

日時：9月10日（土） 14時～14時30分

講師：大下智一（当館主任学芸員）

日時：9月17日（土） 14時～14時30分

講師：森本陽香（当館学芸員）

日 時：9月24日（土） 14時～14時30分
講 師：佐藤由美加（当館主任学芸員）

日 時：10月1日（土） 14時～14時30分
講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）

日 時：10月8日（土） 14時～14時30分
講 師：寺地亜衣（当館学芸員）

日 時：10月15日（土） 14時～14時30分
講 師：門間仁史（当館学芸員）

日 時：10月22日（土） 14時～14時30分
講 師：大下智一（当館主任学芸員）

日 時：10月29日（土） 14時～14時30分
講 師：鎌田享（当館展示・作品課長）

日 時：11月5日（土） 14時～14時30分
講 師：寺地亜衣（当館学芸員）

[子ども鑑賞ツアー]

日 時：9月9日（土）、10月14日（土） 11時～11時30分
会 場：展示室A（小中学生は無料）
案 内：当館学芸員

北海道美術50 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	谷 文晁 印	蝦夷山水器物図巻	1800(寛政12)頃	紙本彩色・卷子(5巻)	25.5×830.3、25.5×780.2、25.5×783.5、25.5×901.0、25.5×2182.0
2	蠣崎 波響	花鳥人物図屏風	1820(文政3)	紙本彩色・屏風(六曲一双貼交)	(各)134.4×51.7
3	林 竹治郎	朝の祈り	1906(明治39)	油彩・キャンバス	50.0×90.0
4	中原 悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)	ブロンズ	18.0×19.5×41.5
5	俣野 第四郎	良子之像	1923(大正12)	油彩・キャンバス	45.5×33.0
6	筆谷 等観	春寒暘浴	1924(大正13)	絹本彩色・軸	118.3×87.0
7	筆谷 等観	夜遊之図	1923(大正12)頃	絹本彩色・軸	143.5×71.5
8	三岸 好太郎	兄及び彼ノ長女	1924(大正13)	油彩・キャンバス	45.8×33.5
9	三岸 好太郎	飛ぶ蝶	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	121.2×84.9
10	北上 聖牛	晴間	1928(昭和3)	絹本彩色・屏風(二曲一隻)	180.3×183.0
11	能勢 真美	緑庭	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	95.3×160.8
12	小川原 脩	雪	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	154.8×191.2
13	本間 莞彩	黄昏	1951(昭和26)	紙本彩色・額	148.0×182.5
14	山口 逢春	向日葵	1955(昭和30)	紙本彩色・額	82.3×60.0
15	木田 金次郎	青い太陽	1955(昭和30)頃	油彩・キャンバス	60.6×72.8
16	難波田 龍起	軌跡	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	130.8×97.0
17	小森 忍	雪結晶文花瓶	1957(昭和32)	陶	17.0×31.5
18	一原 有徳	SON・ZON	1960-79(昭和35-54)	モノタイプ・紙	248.0×110.0 (筒:30.2×211.5)
19	米坂 ヒデノリ	呼ぶ	1961(昭和36)	木(シナ、青シナ)	42.0×52.0×127.0
20	赤穴 宏	作品(B)	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	130.3×194.0
21	片岡 球子	阿波風景	1963(昭和38)	麻布彩色・額	187.0×251.0
22	三岸 節子	摩周湖	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	59.5×108.5
23	栗谷川 健一	スキーの源流	1966(昭和41)	オフセット・紙	103.0×72.8
24	渡会 純价	オモチャの時間	1968(昭和43)	銅版・紙	36.2×30.0
25	神田 日勝	室内風景	1970(昭和45)	油彩・板	227.3×181.8
26	岩橋 英遠	憂北の人	1970-79(昭和45-54)	紙本彩色・屏風四曲一隻	180.5×368.0
27	田辺 三重松	昭和新山	1971(昭和46)	油彩・キャンバス	91.0×72.8
28	岩船 修三	アイヌ・カムイユーカー(神話)	1971(昭和46)	油彩・キャンバス	72.7×90.7
29	折原 久左エ門	結の空間	1972(昭和47)	黄銅・鋳造、ステンレス	78.0×26.0×26.0 (台46.0×110.0×3.0)
30	尾崎 志郎	赤い工場B	1974(昭和49)	木版・紙	44.5×89.5
31	安田 侃	対話	1974-75(昭和49-50)	大理石	100.0×130.0×31.0
32	深井 克美	2時47分	1976(昭和51)	油彩・キャンバス	145.5×112.0
33	菊川 多賀	ひとつの記録	1977(昭和52)	紙本彩色・額	180.5×281.0
34	北岡 文雄	《風土連作》より〈溪流〉	1984(昭和59)	板目木版・紙	198.0×49.0
35	北岡 文雄	《風土連作》より〈氷雪〉	1984(昭和59)	板目木版・紙	198.0×49.0
36	北岡 文雄	《風土連作》より〈波〉	1984(昭和59)	板目木版・紙	198.0×49.0
37	北岡 文雄	《風土連作》より〈岩と樹〉	1984(昭和59)	板目木版・紙	198.0×49.0
38	北岡 文雄	《風土連作》より〈潮だまり〉	1984(昭和59)	板目木版・紙	198.0×49.0
39	北岡 文雄	《風土連作》より〈流木溪流〉	1984(昭和59)	板目木版・紙	198.0×49.0
40	本田 明二	えもの	1988(昭和63)	木	30.0×60.0×70.0
41	砂澤 ビッキ	風	1988(昭和63)	木(ナラ)	124.0×174.5×131.0
42	国松 登	星月夜	1991(平成3)	油彩・キャンバス	162.0×162.0
43	小谷 博貞	二月・わらう原野	1992(平成4)	油彩・キャンバス	130.0×193.5
44	岡部 昌生	YUBARI MATRIX 1992-1995より	1992-95(平成4-7)	フロッタージュ・紙48点組 (大14、小34)	大75.0×110.0、 小55.0×75.0
45	阿部 典英	ネエダゲナサンあるいは再象	1994(平成6)	木(セン、アサダ、ニレ)・チャコール	200.0×250.0×200.0
46	大野 耕太郎	青白磁星座組鉢	1994-95(平成6-7)	陶磁	12.3×6.0他

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
47	佐藤 克教	囚はれて	1998(平成10)	木版・紙	72.0×91.5
48	伊藤 光悦	Airport	1999(平成11)	油彩、アクリル絵具・キャンバス	130.5×162.0
49	宮川 美樹	刻	2001(平成13)	アクリル、水彩・紙	88.3×113.8
50	米谷 雄平	梵我集塵	2001(平成13)	アクリル絵具、ミクストメディア・キャンバス	132.0×500.0
51	羽生 輝	海霧(オソツナイ)	2001(平成13)	彩色・板	181.8×227.3
52	絹谷 幸二	日月燦々北海道	2001(平成13)	ミクストメディア・キャンバス(3枚組)	各193.9×259.1
48	露口 啓二	地名 旅来／Tabikorai／tapkop-ray(たんこぶ山・死ぬ=mountain, round, die)(戦死の・小丘=war dead, little hill)／tapkop-ray-pet(たんこぶ山のある・死んだ・川=“with” mountain, round, clead river)	2002(平成14)・ 2001(平成13)	タイプCプリント	各40.6×50.8
49	井上 まさじ	untitled	2003(平成15)	アクリル絵具、糸・板	90.0×45.0
50	嶋崎 誠	心円	2007(平成19)	ガラス	21.0×76.0×117.0
51	中谷 有逸	碑・古事記(サホビコとサホビメ)	2013(平成25)	ステンシル版、インク(木炭粉、石粉、鉄粉、アクリル絵の具等と樹脂を練り合わせ)、油性ペンキ・パネール	145.5×112.0
52	鈴木 涼子	私は…no.20	2015(平成27)	タイプCプリント	120.0×180.0

※寸法は、平面作品が縦×横×厚さ、立体作品が縦×横×高さ、あるいは径×高さ。

※no. 8、9は北海道立三好好太郎美術館蔵。それ以外はすべて当館蔵。

※no. 8は8月26日～10月22日まで展示。No. 9は10月23日～11月7日まで展示。

北海道の陶芸 新たなる炎の挑戦 幕末から現代まで 出品目録

No.	窯名(操業期間)/作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	箱館焼(安政6～文久2頃)	染付湯呑茶碗・唐太之内ヲナヨボ	1860(万延元)	陶磁	径8.6×高7.8
2	箱館焼(安政6～文久2頃)	染付盃・蝦夷女之子		陶磁	径6.7×高3.0
3	箱館焼(安政6～文久2頃)	染付茶入		陶磁	径7.3×高15.1
4	函館焼	取手付器		陶磁	奥行17.8×幅19.3×高23.4
5	土場焼(明治5～昭和18)	手宮古代文字文双耳壺		陶磁	径13.7×高13.2
6	蝦夷試製(明治32～36頃)	雨龍文瑠璃鉢		陶磁	径23.8×高5.5
7	蝦夷試製(明治32～36頃)	アイヌ曲馬文色絵皿		陶磁	径21.0×高3.4
8	蝦夷試製(明治32～36頃)	アイヌ熊祭煎茶器セット		陶磁	(茶碗) 9.1×4.9 9.1×4.9 9.1×4.9 9.1×4.9 9.1×4.5 (湯冷まし) 9.0×10.6×5.5 (急須) 10.4×11.6×7.0
9	頓平焼(明治41～大正2頃)	桜花曲水文菓子器		陶磁	18.0×16.1
10	八雲焼(明治40頃～)	煎茶碗セット		陶磁	径8.9×高5.0 8.7×4.9 9.6× 4.5 8.6×4.8 8.9×4.5
11	新十津川焼(明治43～大正3)	双魚文小皿		陶磁	奥行8.0×幅8.0×高2.8
12	了谷焼(明治45頃～大正8頃)	抹茶入		陶磁	径6.4×高6.5
13	了谷焼(明治45頃～大正8頃)	蕎麦釉抹茶碗		陶磁	径11.6×高6.4
14	蝦夷焼(大正4～6)	松文蓋物		陶磁	蓋付寸、径×高) 10.0×10.4 9.9×9.7 10.3×9.3
15	蝦夷焼(大正4～6)	露草文蓋物		陶磁	上) 径10.0×高9.1 下) 径10.2×9.1
16	蝦夷焼(大正4～6)	梅花文蓋物		陶磁	径10.2×高9.0
17	伏古焼(大正4～10)	染付飯茶碗		陶磁	径10.5×高5.0
18	伏古焼(大正4～10)	染付湯呑		陶磁	径21.7×高18.7
19	札幌焼(大正4～14)	素焼可盃		陶磁	径6.4×高2.1 6.6×2.2
20	湯川焼(大正9～昭和4)	染付山水文小鉢		陶磁	奥行10.1×幅10.1×高4.5 10.1×10.1 ×4.5 10.2×10.4×4.3 10.1×10.1×4.4 10.6×10.6×4.3
21	小樽焼(大正4～13頃)	染付徳利と盃のセット		陶磁	徳利：奥行6.1×幅6.8×高13.4 お銚子：5.2×2.7 5.2×2.7 5.2×2.7 5.2×2.7 5.2×2.7
22	北工窯(大正12～)	ビールジョッキ		陶磁	奥行9.7×幅14.8×高13.4
23	北窯(大正12～昭和5、昭和25～26)	手付ビッチャー		陶磁	奥行11.5×幅14.5×高18.5
24	余別焼(大正14～15)	コルク詮付瓶		陶磁	径8.8×高12.8
25	小森 忍	辰砂釉花瓶		陶磁	15.8×16.0
26	小森 忍	三彩大皿		陶磁	33.7×6.2
27	小森 忍	蝦夷絵高麗手草花紋花瓶	1958(昭和33)	陶磁	径19.6×高38.5
28	小森 忍	柿釉アイヌ文曲盃		陶磁	奥行12.1×幅21.1×高12.9(持ち 手含む) (陶部分のみは7.9)
29	宮下貞一郎	急須			奥行13.5×幅22.3×高11.6
30	宮下貞一郎	大皿			径34.0×高6.5
31	宮下貞一郎	呉須絵三つ重ね	1960(昭和35)頃		21.5×11.0×17.5
32	宮下貞一郎	辰砂釉裏紅大皿	1957(昭和32)頃	陶磁	33.5×7.4
33	小樽窯(昭和10～平成19)	蝦夷文大皿		陶磁	径34.5×高6.0
34	小樽窯(昭和10～平成19)	天目白流文花瓶		陶磁	径23.4×高29.3

35	山岡 三秋	黒釉いっちゃん箱	1954-57（昭和29-32）	陶磁	奥行9.3×幅15.1×高6.7
36	山岡 三秋	窯変辰砂花瓶	1974（昭和49）	陶磁	29.5×43.0
37	札幌陶園（原型：加藤顕清） （昭和10～30）	三彩馬		陶磁	奥行6.5×幅19.8×高19.5
38	札幌陶園（昭和10～30）	陶塑・熊			奥行20.1×幅16.6×高18.6
39	室蘭陶園（昭和11～15）	座り熊	1937（昭和12）	陶磁	奥行19.3×幅15.6×高17.6
40	俱知安焼（昭和21～26）	湯呑茶碗		陶磁	径6.8×高6.8
41	大雪焼（昭和21～45）	アイヌ人物文浮彫一輪挿	1954（昭和29）頃	陶磁	径10.3×高11.5
42	大雪焼（昭和21～45）	アイヌ人物文浮彫一輪挿	1954（昭和29）頃	陶磁	径10.6×高12.6
43	石狩陶園（昭和7～28）	蛙釣瓶花生		陶磁	径16.4×高24.3
44	神楽陶園（昭和4～11）	猿付壺		陶磁	奥行19.2×幅19.4×高30.5
45	蝦夷窯（江戸武焼）（昭和17～34）	魚形北海道地図深皿		陶磁	奥行12.3×幅17.8×高4.0
46	蝦夷窯（江戸武焼）（昭和17～34）	魚形深皿		陶磁	奥行10.8×幅16.8×高3.0
47	蝦夷窯（江戸武焼）（昭和17～34）	ウロコ彫り魚形皿		陶磁	奥行10.5×幅18.3×高3.2 10.6 ×17.8×3.4
48	蝦夷窯（江戸武焼）（昭和17～34）	ニマ鉢		陶磁	奥行13.1×幅12.5×高5.7
49	白勢 誠一	花器		陶磁	径15.0×高28.8
50	板東 陶光	茶碗		陶磁	径12.3×高7.0
51	山本 正年	斑文釉花生	1981（昭和56）	陶磁	径26.0×高32.3
52	山本 正年	釉彩文鉢		陶磁	径30.0×高10.0
53	涌井 辰雄	一輪挿		陶磁	径10.5×高19.0
54	高橋 千弥	霞釉夏抹茶碗		陶磁	径15.5×高7.3
55	吉田 時彦	アイヌ文バター入		陶磁	奥行9.5×幅15.0×高7.0
56	押川 清	花瓶		陶磁	径17.8×高27.7
57	中村 照子	辰砂中次		陶磁	蓋付寸 径7.6×高6.9
58	谷内 丞	縞目ゴブレット		陶磁	径7.7×高14.0 7.6×14.0 7.4 ×13.8 7.4×13.9 7.5×13.9
59	石坂 勝美	トルコ青釉器	1973（昭和48）	陶磁	径43.0×高19.5
60	柴山 勝	鮑形蟹文器		陶磁	奥行18.3×幅27.9×高7.0
61	下澤 土泡	一輪生		陶磁	奥行7.0×幅9.2×高24.6
62	荒田 耕治	線刻印文壺	1982（昭和57）	陶磁	32.0×35.0
63	小野寺 玄	炭化練上輪積み鉢	1982（昭和57）	陶磁	45.8×20.0
64	中村 興市	オブジェー彩（祭）器	2001（平成13）	陶磁	24.0×26.5×64.0
65	下澤 敏也	Re-birth:「起源より」	2011-2012（平成23-24）	陶磁	壁のパーツ：27.5×34.0×117.3 床のパーツ：35.1×43.5×25.5 23.7×32.6×20.7

ふれるかたち 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	流 政之	ナガレバチ	1998(平成10)	大理石	18.4×31.0×83.5
2	流 政之	おくのあきま	1973(昭和48)	ブロンズ	37.0×72.0×54.5
3	本田 明二	黒い首	1953(昭和28)	木、漆	20.0×27.0×50.5
4	山内 壮夫	風	1974(昭和49)	ブロンズ	154.0×35.0×74.0
5	安田 侃	生誕	1974-75(昭和49-50)	大理石	80.0×100.0×66.0
6	佐藤 忠良	ボタン	1969(昭和44)	ブロンズ	30.0×40.0×127.0
7	高田 博厚	美しきエミー	1963(昭和38)	ブロンズ	16.0×35.0×28.0

※寸法は、奥行×幅×高さ

※作品はすべて当館蔵

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	展示期間
1	寺島 春雄	黒い勲章の行進	1964(昭和39)	油彩・キャンパス	116.7×91.0	8月26日(土)～10月3日(火)
2	池谷 寅一	初秋小憩	1935(昭和10)	油彩・キャンパス	64.5×90.5	10月4日(水)～11月7日(火)

※寸法は、縦×横

※作品はすべて当館蔵

3 開館 40 周年記念

ワンダー☆ミュージアム 夜と出会う、夜を見る

同時開催/開館 40 周年記念 近美コレクション第Ⅲ期 名品選 キスリング
《オランダの娘》他、この 1 点を見てほしい。

- 会 期：平成 29 年 11 月 22 日（水）～平成 30 年 4 月 12 日（木）
会 場：北海道立近代美術館 展示室 A 1 階
主 催：北海道立近代美術館
共 催：NHK 札幌放送局、一般社団法人 北海道美術館協力会
協 賛：公益財団法人 道銀文化財団、三菱ケミカル株式会社、笠井産業株式会社、アクリサンデー株式会社、株式会社堀口塗装店、アートヴィレッジ恩根内
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
協 力：札幌市立円山小学校、北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻アートマネジメント
美術研究室、赤平コミュニティガイドクラブ TANtan

開館 40 周年記念ワンダー☆ミュージアム 夜と出会う、夜を見る

Wonder Museum

毎年冬季に開催する親子向け展覧会、「ワンダー☆ミュージアム」。今年度は「夜」をテーマとした。「夜」は、地球上のどこにでも毎日かならず訪れるものであるが、子どもにとっては、意外にも知っているようで知らない世界であるといえる。夜の暗闇や、月や星の明かりは、古来より現代まで、多くの人々にインスピレーションを与えてきた。そして夜を舞台にした芸術作品は数多く存在する。

本展は二部構成とした。前半では、まるで絵本の登場人物になったかのように、鑑賞者は不思議な夜の世界を冒険することで、作品に出会うことができる。そして後半では、さまざまな夜の情景を描いた作品を紹介した。当館のコレクションを通じて、豊かな創造の世界へと誘うことを狙いとした。

●展示構成

夜のぼうけん

学校連携事業「夜の国の光のオアシス」

いろいろな夜

開館 40 周年記念 近美コレクション第Ⅲ期名品選

キスリング《オランダの娘》他

Selected Pieces from Our Collection

北海道立近代美術館は、「パスキンとエコール・ド・パリ」、「北海道の美術」、「ガラス工芸」を作品収集の三本柱としている。このほか、「日本近代の美術」、「浮世絵版画」、「ヨーロッパの版画」、「北海道のやきもの」など、まとまりをなす作品群もあわせ、平成 28 年度末で 5,192 点の作品を所蔵している。

本展では、パスキンやキスリングをはじめとするエコール・ド・パリの作品と、アール・ヌーヴォーから現代までの多彩なガラス作品を展示した。

この 1 点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

中西 利雄《教会の見える風景》 11 月 22 日（水）～平成 30 年 2 月 2 日（金）
エミール・オルリック《日本の画家、彫師、摺師》 2 月 3 日（土）～4 月 12 日（木）

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

FUJIYA

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チ ラ シ／A4 判

印 刷：山藤山陽印刷（株）

デザイン：佐藤守功デザイン事務所

●ワークブック

A5 変形 148×148 mm 16 頁（中綴じ）

企画・編集／北海道立近代美術館

デザイン／佐藤守功デザイン事務所

イラスト／なかいいい氏

印刷／中西出版株式会社

発行／北海道立近代美術館

●関連事業

[自由参加制]

◎子ども鑑賞ツアー

学芸員による作品案内を通して、展覧会を楽しむ鑑賞ツアー。

日 時：12月9日、1月13日、2月10日、3月10日（土）

各日とも午前11時から（約30分）

会 場：当館展示室A

案 内：当館学芸員

◎ミニ・アトリエ「星座を作ろう！星空の小部屋」

ブラックライトを点灯させた小部屋の中にシールを貼り付けることで、参加者がそれぞれオリジナルの星座を作り、一面の星空を完成させる。

日 時：展覧会会期中

会 場：当館1階ホール

参 加 料：無料

[募集制]

◎ワークショップ「おばけのマ〜ルと夜の絵本」

札幌の子どもたちにお馴染みの「おばけのマ〜ル」。マ〜ルは絵本の中で夜の円山動物園や時計台などに遊びに行き、そこで友達に出会い、不思議な体験をする。このワークショップでは、おばけのマ〜ルを登場させた、自分だけの絵本を制作した。

講 師：なかいれい氏（絵本作家、イラストレーター）、けーたろう氏

日 時：平成30年1月13日（土）、1月20日（土）

各日とも午後1時～午後4時

会 場：当館造形室

対 象：子どもとその保護者

定 員：各日15組

参 加 料：小中学生は無料（保護者の方は要観覧券）

[学校連携事業]

◎制作授業「夜の国の光のオアシス」

現在活躍中の作家を講師に迎え、小学校の図画・工作の授業において、児童に作品制作指導を行った。今年度は、児童がデザインしたオリジナルの星が投影されるプラネタリウムを中心としたインスタレーションを制作した。完成作品は、展覧会場に展示した。

講 師：富士翔太郎氏（作家）
対 象：札幌市立円山小学校 第3学年・4学年（各5学級 316名）
会 場：札幌市立円山小学校
制作期間：平成29年9月末～11月中旬

[ギャラリー・トーク]

日 時：	11月26日（日）、2月18日（土）	14時～14時30分
講 師：	鎌田 享（当館展示・作品課長）	
日 時：	12月3日（日）、1月28日（日）	14時～14時30分
講 師：	佐藤由美加（当館主任学芸員）	
日 時：	12月10日（日）	14時～14時30分
講 師：	門間 仁史（当館学芸員）	
日 時：	12月17日（日）、1月14日（日）	14時～14時30分
講 師：	五十嵐聡美（当館普及情報課長）	
日 時：	12月24日（日）	14時～14時30分
講 師：	松山 聖央（当館学芸員）	
日 時：	1月7日（日）	14時～14時30分
講 師：	佐藤 幸宏（当館学芸副館長）	
日 時：	1月21日（日）、3月18日（日）、4月1日（日）、4月8日（日）	14時～14時30分
講 師：	齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	
日 時：	2月4日（日）、3月4日（日）	14時～14時30分
講 師：	森本 陽香（当館学芸員）	
日 時：	2月11日（日）、3月11日（日）	14時～14時30分
講 師：	熊谷 麻美（当館学芸員）	
日 時：	2月25日（日）	14時～14時30分
講 師：	寺地 亜衣（当館学芸員）	
日 時：	3月25日（日）	14時～14時30分
講 師：	地家 光二（当館学芸部長）	

ワンダー☆ミュージアム 夜に会う、夜を見る 出品目録

no.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1	塩谷 直美	月の空	2001(平成13)	ガラス：キャスト、サンドブラスト、研磨	11.0×60.0×40.0	
夜のぼうけん						
2	エドワード・ムンク	窓辺の少女	1894	ドライポイント・ルーレット、紙	22.0×15.7	半期展示 (11/22～2/2)
3	エドワード・ムンク	月光	1895	ドライポイント・アクアチント、紙	31.0×25.3	半期展示 (2/3～4/12)
4	国松 登	星月夜	1992(平成4)	油彩・キャンバス	162.0×162.0	
5	岩橋 英遠	石	1952(昭和27)	紙本彩色	163.0×159.0	
6	砂澤 ビッキ	樹華	1983(昭和58)	木(ヤナギ)	140.0×140.0×212.0	
7	手島 圭三郎	しまふくろうの湖・流木	1981(昭和56)	木版、紙	53.0×75.0	
8	手島 圭三郎	しまふくろうと冬の月	1992(平成4)	木版、紙	53.0×75.0	
9	国松 登	月夜の森	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	91.0×116.0	
10	花田 和治	月夜	1982-83 (昭和57-58)	油彩・キャンバス	227.3×145.4	
11	本田 明二	えもの	1988(昭和63)	木	30.0×60.0×70.0	
12	藤田 喬平	魂	1988(昭和63)	ガラス：被せガラス、宙吹き	35.5×50.0×82.5	
13	イヴァン・マレシュ	悪夢 I	1990	ガラス：キャスト、カット、研磨	58.5×65.0×62.0	
14	扇田 克也	アメノヒモアル	1991(平成3)	ガラス：キャスト、サンドブラスト	28.0×32.0×25.5	
いろいろな夜						
しずかな夜						
15	阿部 貞夫	月待つ浜	1966(昭和41)	木版、紙	17.7×23.4	
16	望月 正男	夜の漁港	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	97.5×145.5	
さみしい夜						
17	宮川 魏	冬の道	1983(昭和58)	油彩・キャンバス	130.3×193.0	
18	田中 忠雄	荒野に伏す	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	130.3×130.3	
キラキラの夜						
19	萩原 英雄	星月夜 No.1	1978(昭和53)	木版、紙	60.0×45.2	
20	鎌田 俳捺子	北の夜空	1992(平成4)	油彩・キャンバス	193.6×162.1	
21	鳩川 誠一	銀座夜景	1964(昭和39)	油彩・墨・紙	115.5×135.0	
にぎやかな夜						
22	片岡 球子	桜島の夜	1962(昭和37)	麻布彩色	188.0×262.0	
ふしぎな夜						
23	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子たち』 魅せられた領域：大島は宝石島の島である…	刊行：1968	リトグラフ、紙	31.5×48.0	半期展示 (2/3～4/12)
24	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子たち』 魅せられた領域：扉はピロードのような夜に開く…	刊行：1968	リトグラフ、紙	27.1×47.5	半期展示 (11/22～2/2)
25	北岡 文雄	夜	1955(昭和30)	木口木版、紙	18.4×26.3	
26	北岡 文雄	夜の壁	1955(昭和30)	木口木版、紙	20.0×30.0	
27	北岡 文雄	夜の建物	1955(昭和30)	木口木版、紙	20.0×30.0	
28	塩谷 直美	5回の夜	2001(平成13)	ガラス：キャスト、サンドブラスト、研磨	17.0×69.0×34.0	
こおりつく夜						
29	国松 登	氷人B	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	136.0×136.2	
30	花田 和治	アース	1994(平成6)	油彩・キャンバス	194.0×85.0	

※寸法は、平面作品は縦×横、立体作品は径×高さ、あるいは幅×奥行き×高さ

開館40周年記念 第Ⅲ期名品選 キスリング《オランダの娘》他 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	ルイ・コムフォート・ティファニー	ランプ・きばなふじ	1900-1910	ガラス:ブロンズ、銅	56.0×79.0
2	エミール・ガレ	ティーカップ	1887頃	ガラス:金彩、エナメル彩	7.3×9.3×4.8、 皿 (11.9×1.9)
3	エミール・ガレ	ティーカップ	1890頃	ガラス:エナメル彩	7.5×8.9×5.0、 皿 (12.7×1.7)
4	エミール・ガレ	アザミ文リキュールセット	1880代	ガラス:宙吹き、型吹き、エナメル彩、金彩	瓶 10.1×7.8×22.6、 グラス 4.5×9.3、 皿 31.2×4.6
5	エミール・ガレ	ワイングラス	1890頃	ガラス:金彩、エナメル彩、エッチング、アブリカシオン	9.5×12.9
6	エミール・ガレ	昆虫に草花文グラス	1890代	ガラス:金彩、エナメル彩	8.5×12.5
7	エミール・ガレ	蜻蛉文花器	1880代	ガラス:エナメル彩	8.9×14.8
8	エミール・ガレ	南瓜文蓋物	1900頃	ガラス:型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	8.9×14.9
9	エミール・ガレ	蜻蛉文花器	1900-1904頃	ガラス:被せガラス・エッチング	8.5×6.2×16.8
10	ガレ工房	木の実文花器	1920代	ガラス:被せガラス・エッチング	25.8×18.3
11	オーギュスト・ジャン	帯文花器	1880頃	ガラス:宙吹き、エナメル彩、金彩	18.0×18.9
12	エスカリエ・ド・クリスタル	ゲンゴロウ文花器	1870代	ガラス:型吹き、エングレーヴィング、エナメル彩、金彩	14.5×50.0
13	ガレ工房	花に蝶文蓋物	1910頃	ガラス:被せガラス・エッチング	9.8×9.8×11.5
14	ドーム	スマレ文ボンボン入れ	1910	ガラス:エナメル彩、エッチング	5.7×10.3
15	ドーム	シクラメン文花器	1903-14	ガラス:斑文装飾、型吹き、エッチング、エナメル彩	7.8×10.1
16	ドーム	昆虫文蓋物	1910頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	13.2×8.1
17	ドーム	蝶文蓋	1910頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	10.5×5.5
18	ドーム	鷺に睡蓮文三耳花文花器	1894頃	ガラス:型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	12.1×11.4×15.6
19	ドーム	鈴蘭文リキュール入れ	1890	オーバーリングガラス:金彩、銀彩	12.5×6.3×12.2
20	ドーム	銀手さげ付き花文クッキー入れ	19世紀末	ガラス:銀、エッチング、金彩、エナメル彩	12.7×18.0
21	ドーム	銀縁飾草文大鉢	1894頃	ガラス:銀・エッチング・金彩	23.0×11.5
22	ドーム	銀台付ヤドリギ文コンボート	1894頃	ガラス:銀、エッチング、金彩	14.5×14.0×8.5
23	ドーム	あざみ文花器	1900頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス:型吹き、エッチング、エングレーヴィング	14.0×50.7
24	ドーム	あざみ文花器	1890頃	ガラス:金彩、銅彩(真鍮)	11.0×21.0
25	ドームとルイ・マジョレル	鉄棒吹込花器	1922頃	ガラス:斑文装飾、鉄棒吹込み	27.5×26.0
26	アンドレ・ドラット	鉄棒吹込花器	1922頃	ガラス:斑文装飾、鉄棒吹込み	22.1×28.5
27	ドラッド工房	花文デカンタ	1920代	ガラス:エッチング	10.9×31.2
28	アンドレ・ドラット	鉄棒吹込花器	1925頃	ガラス:鉄棒吹込み、斑文装飾	13.0×34.5
29	ガブリエル・アルジ＝ルソー	ばら文花器	1922	ガラス:パート・ド・ヴェール	16.0×22.0
30	ガブリエル・アルジ＝ルソー	けし文碗	1925頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	11.5×7.5
31	ガブリエル・アルジ＝ルソー	あざみ文皿	1910代	ガラス:パート・ド・ヴェール	18.0×2.0
32	アマルリク・ヴァルテール	置時計	1915頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	10.7×13.5
33	ヴィクトール・アマルリク・ヴァルテール	置物・青い鳥	1920代	ガラス:パート・ド・ヴェール	4.7×7.2×11.8
34	ルネ・ラリック	羊歯文花器	1920代	ガラス:型吹き	14.5×16.5
35	ルネ・ラリック	スザンナ	型:1925	ガラス:型押し	19.5×5.5×21.5
36	ルネ・ラリック	花束文鉢	1920代	ガラス:型押し	30.5×12.0
37	ルネ・ラリック	皿・カリュプソ	1930	ガラス:型押し	38.0×4.5
38	インゲボリィ・ルンディーン	花器・りんご	デザイン:1957	ガラス:被せガラス:宙吹き	33.8×36.0
39	バヴェル・モルナル	無題	1984	ガラス:ランプワークと窯でのテクニクを併用	4.6×8.4×22.6
40	バヴェル・モルナル	無題	1985	ガラス:ランプワークと窯でのテクニクを併用	8.0×17.4

41	バヴェル・モルナル	無題	1985	ガラス:ランブワークと窯でのテクニクを併用	5.5×15.4×21.0
42	ポール・スタンカード	精霊のいる蘭	1988	ガラス:ランブワーク、研磨、合わせガラス	8.0×7.5×16.0
43	クルト・ヴァルシュタッパ	グループ―瓶、円筒―	1982	ガラス:ランブワーク	5.0×9.5×14.0、 5.5×10.5
44	クルト・ヴァルシュタッパ	グループ―瓶、花瓶―	1982	ガラス:ランブワーク	7.5×12.5、6.0×20.0
45	フィン・リュンゴー	蝶	1982	ガラス:被せガラス:銀箔溶着	22.0×23.0
46	フィン・リュンゴー	おもちゃの国 I、II	1982	ガラス:型吹き、エナメル彩	各 8.5×19.5
47	スティーヴン・エドワーズ	鼎―海の形	1982	ガラス:エッチング、サンドブラスト	20.5×19.0
49	トゥーツ・ジンスキー	オブジェ9		ガラス:フィレ・ド・ヴェール(糸状の色ガラス: フュージング、スランピング)	30.9×27.0×16.3
50	トゥーツ・ジンスキー	オブジェ19		ガラス:フィレ・ド・ヴェール(糸状の色ガラス: フュージング、スランピング)	29.6×29.8×16.0
51	エミリー・ブロック	セントラル・ダイナー	1991	ガラス:カットフュージング、スランピング、エナメル 焼付、ランブワーク、部分的に石と金属	44.3×31.7×31.7
52	アントワヌ・ルペルリエ	彫刻―スフィンクス	1985	ガラス:パート・ド・ヴェール	11.3×30.5×17.8
53	ヴィリ・ピストル	オブジェ II 1982	1982	ガラス:溶融カット技法・エッチング	23.0×23.0×9.0
54	コピール	ユニクム(トランフェー)	1981	ガラス:宙吹き、色ガラス溶着、サンドグラスト	25.5×28.0
55	デヴィット P.ダウラー	陸の船	1982	ガラス:型落し、カット	8.5×24.5×17.5
56	ジニー・ラフナー	統一された球技場理論	1988	ガラス:ランブワーク、サンドブラスト、着色、ドロー イング	35.0×26.0×47.0
57	ジョーイ・カークパトリック フローラ C.メイス	フルーツの静物	1994	ガラス(皿〜木製)、宙吹き、ガラス粉溶着による着 色	49.8×25.1
58	ジョルジュ・ルオー	聖なる顔	1939	油彩・板に張った紙	56.0×41.0
59	ハイム・スーチン	祈る男	1921頃	油彩・キャンバス	94.0×51.0
60	ジュル・パスキン	花束を持つ少女	1925-1926	油彩・キャンバス	80.0×64.0
61	モーリス・ド・ヴラマンク	村	1950代	油彩・キャンバス	48.4×59.5
62	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩・キャンバス	100.0×81.0
63	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り(セーヌ)	1910頃	油彩・キャンバス	57・5×79.3
64	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリア・グラヴェス タインの肖像	1909	油彩・キャンバス	100.0×81.0
65	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩・キャンバス	148×140
66	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
67	キスリング	魚の静物	1924	油彩・キャンバス	81.0×100.0

※寸法は、平面作品は縦×横、立体作品は径×高さ、あるいは幅×奥行き×高さ

この1点を見てほしい。 出品目録

No. 作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	展示期間
1 中西 利雄	教会の見える風景	1930 (昭和5)	水彩・紙	54.0×70.0	11月22日 (水)～平成30年2月2日 (金)
2 中西 利雄	北大構内	1939 (昭和14)	コンテ・紙	19.4×23.0	11月22日 (水)～平成30年2月2日 (金)
3 中西 利雄	北大構内	1939 (昭和14)	鉛筆・紙	28.0×37.0	11月22日 (水)～平成30年2月2日 (金)
4 エミール・オルリック	日本の画家、彫師、刷師	1900	木版・紙		平成30年2月3日 (土)～4月12日 (水)

※寸法は、縦×横

2_2 展覧会②特別展

◆特別展一覧

番号 (展覧会番号)	展覧会名	開催期間	開催日数	主催・後援等
1 (286)	開館40周年記念 大原美術館展Ⅱ	2017(平成29)年 4月22日(土) ～ 6月11日(日)	44日	主 催: 北海道立近代美術館、テレビ北海道、北海道新聞社 後 援: 北海道 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会 特別協力: 札幌商工会議所 日本経済新聞社 公益財団法人 大原美術館
2 (287)	開館40周年記念 ゴッホ展 巡りゆく日本の夢	8月26日(土) ～ 10月15日(日)	44日	主 催: 北海道立近代美術館、北海道新聞社、NHK 札幌放送局、NHKブラネット北海道 後 援: 財務省、オランダ王国大使館、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会 特別協賛: 大和ハウス工業 協 賛: 損保ジャパン日本興亜 協 力: KLMオランダ航空、日本航空 共同企画: ファン・ゴッホ美術館
3 (288)	芸術週間 開館40周年記念 近美と協力会の40年	11月1日(水) ～ 11月7日(火)	7日	主 催: 北海道立近代美術館、北海道美術館協力会 アルテピア
4 (289)	開館40周年記念 追悼特別展 高倉健展	11月22日(水) ～ 2018(平成30)年 1月21日(日)	48日	主 催: 北海道立近代美術館、毎日新聞社 後 援: 札幌市、札幌市教育委員会 特別協力: 高倉プロモーション 協 力: 一般社団法人日本映画製作者連盟 特別協賛: 健康家族

1 大原美術館展Ⅱ

1920 年代、巴里。そこは画家たちの憧れの地だった。

Masterpieces of the Ohara Museum of Art II

会 期：平成 29 年 4 月 22 日（土）～6 月 11 日（日）

会 場：北海道立近代美術館 展示室 B

主 催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、北海道新聞社

後 援：北海道、北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会、札幌商工会議所
日本経済新聞社

特別協力：公益財団法人 大原美術館

大原美術館は、1930(昭和 5)年、西洋美術を紹介する日本初の本格的美術館として岡山県倉敷市に開館した。創立者は倉敷の実業家・大原孫三郎。コレクションの礎となったのは、岡山出身の洋画家・児島虎次郎が、孫三郎の理解と支援を受け、1920 年代前半にヨーロッパで収集した作品である。その後も収集は続けられ、現在では西洋から日本、東洋の絵画・工芸、現代美術まで約 3000 件の幅広いコレクションを誇っている。

当館では、2012(平成 24)年に、この大原美術館の各分野にわたる近代から現代までの名品を紹介する展覧会を北海道で初開催し好評を得た。今回はそれに引き続く第 2 回展であり、二つの世界大戦の間ー1920～30 年代を中心としたヨーロッパと日本の美術に焦点をあてた。当時、フランス、中でもパリは画家にとって憧れの地であり、世界各国から芸術家が集まり、日本からも、エコール・ド・パリの寵児と言われた藤田嗣治をはじめ、多くの画家が渡仏している。一方では日本国内においても、新聞や雑誌などのメディアが発達し、さらに帰国した渡欧画家から同時代の情報が伝わって美術界に大きな刺激と影響を与えていく。大原美術館コレクションの根幹をなすのが、まさにこの時代であったといえることができる。51 作家 71 点を展示した展覧会は好評を博し、約 48,000 人の来場者があった。

●展示構成

- 1 児島虎次郎と大原美術館
- 2 ヨーロッパ 1920～30 年代
- 3 日本 大正～昭和初期

●図録『大原美術館展Ⅱ 1920 年代、巴里。そこは画家たちの憧れの地だった。』

182×257 mm／124 ページ

編 集： 北海道立近代美術館

デザイン： 三善デザイン事務所

執 筆： 吉川あゆみ氏（公益財団法人大原美術館主任学芸員）

佐藤由美加（北海道立近代美術館主任学芸員）

菌部 容子（北海道立近代美術館学芸員）

寺地 亜衣（北海道立近代美術館学芸員）

印 刷：株式会社アイワード

発 行：テレビ北海道

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チ ラ シ／A3 二つ折り

観 覧 券／縦 19.0×横 7.0cm(共通券)、縦 16.5×横 7.0cm(共通券以外)

印 刷：株式会社アイワード

デザイン：三善デザイン事務所

出品目録／A4 判

印 刷：株式会社アイワード

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社六書堂

●関連事業

[オープニング記念ギャラリー・ツアー]

日 時：4月22日（土）10時～（約40分）

講 師：吉川あゆみ氏（大原美術館主任学芸員）

会 場：当館展示室B

[オープニング記念講演会]

「両大戦間の美術—大原美術館コレクションを中心に」

日 時：4月22日（土）14時～（約90分）

講 師：柳沢秀行 氏（大原美術館学芸課長）

会 場：当館講堂（聴講無料）

[特別講演会]

「大原美術館—コレクションをめぐる理想と活動」

日 時：5月27日（土）14時～（約90分）

講 師：高階秀爾 氏（大原美術館館長）

会 場：当館講堂（聴講無料）

[学芸員による見どころ解説]

日 時：5月6日（土） 「児島虎次郎と大原美術館」
5月13日（土） 「1920年代、ヨーロッパ」
5月20日（土） 「大正・昭和初期—日本」
各日 14時～（約40分）
会 場：当館講堂（聴講無料）
講 師：佐藤由美加（当館主任学芸員）5月6日、5月13日
寺地 亜衣（当館学芸員） 5月20日

[募集制プログラム]

「美と食を愉しむランチ&トーク 大原美術館展 II」
日 時：4月26日（水）、5月10日（水） 各日 11時30分～
会 場：ホテルオークラ札幌 フォンテース
講 師：寺地 亜衣（当館学芸員） 4月26日
佐藤由美加（当館主任学芸員）5月10日

●主な新聞・雑誌記事等

北海道新聞

「1920～30年代の才能競演」	4月18日（火）
「大原美術館を訪ねて」	4月21日（金）
「西洋の美 札幌に集結」	4月22日（土）
「近代の名作うっとり」	4月23日（日）
「札幌で歴史的な名画と出会う」	5月29日（火）

大原美術館展Ⅱ 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法
Ⅰ 児島虎次郎と大原美術館					
1	児島虎次郎	里の水車	1906(明治39)	油彩、画布	87.0×141.0
2	児島虎次郎	岸の森	1909(明治42)	油彩、画布	65.5×80.8
3	児島虎次郎	朝の光	1911(明治44)	油彩、画布	143.8×110.6
4	児島虎次郎	酒津の秋	1917(大正6)	油彩、画布	89.8×116.0
5	児島虎次郎	朝顔	1916/1920 (大正5/9)	油彩、画布	3面(197.2×131.5/ 203.5×136.8/ 197.4×135.5)
6	児島虎次郎	スペインの風景	1920(大正9)	油彩、画布	57.5×79.8
7	児島虎次郎	寓憩	1920(大正9)	油彩、画布	168.8×132.0
8	児島虎次郎	早春	1926(昭和元)	油彩、画布	89.3×115.8
9	児島虎次郎	白衣の少女	1926(昭和元)	油彩、画布	114.0×87.0
10	児島虎次郎	奏楽	1927(昭和2)	油彩、画布	155.7×141.6
Ⅱ ヨーロッパ 1920～30年代					
11	アリスティド・マイヨール	イル＝ド＝フランスのトルソ	1921	ブロンズ	120.0×33.8×44.0
12	アンリ・ル・シダネル	夕暮の小卓	1921	油彩、画布	100.0×81.1
13	アンリ・マティス	エトルター海の断崖	1920	油彩、画布	54.2×65.2
14	ジョルジュ・ルオー	道化師(横顔)	1925-29	油彩、紙(画布裏打ち)	68.5×50.0
15	シャルル＝ ジョルジュ・デュプレヌ	モロッコの市場	1920頃	油彩、画布	131.2×162.5
16	モーリス・ド・ヴラマンク	静物	1922	油彩、画布	54.5×65.3
17	ラウル・デュフィ	ドーヴィルの競馬場	1931	油彩、画布	60.0×73.2
18	アンドレ・ドラク	イタリアの女	1920頃	油彩、画布	92.0×73.2
19	アンリ・ド・ワロキエ	ヴェニス の サンタ・マリア・デラ・サルデー寺院	1920	油彩、紙(画布裏打ち)	123.3×94.8
20	マルセル・デュシャン	L. H. O. O. Q.	1919 (再制作:1964)	鉛筆、印刷物(レディメイド)	30.1×23.0
21	パブロ・ピカソ	鳥籠	1925	油彩、画布	81.5×101.0
22	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘	1937	エッチング・ シュガーアクアチント、紙	各31.7×42 (イメージサイズ/2枚組)
23	正宗得三郎	裸婦	1923-24 (大正12-13)	油彩、画布	55.0×65.5
24	藤田 嗣治	舞踏会の前	1925(大正14)	油彩、画布	168.5×199.5
25	土田 麦僊	ヴェトゥイユ風景	1922(大正11)	テンペラ、画布	40.5×61.0
26	マルク・シャガール	恋人	1938-39	グワッシュ、紙	66.5×51.9
27	ジョルジュ・デ・キリコ	ヘクトールとアンドロメダの別れ	1918	油彩、画布	119.8×74.1
28	坂田 一男	習作	1926(昭和元)	油彩、画布	60.0×73.3
29	児島善三郎	少女像	1928(昭和3)	油彩、画布	79.5×58.5
30	中山 巍	オテル・デュヴァル	1925(大正14)頃	油彩、画布	60.5×80.7
31	中山 巍	静物(パンのある静物)	1925(大正14)頃	油彩、画布	53.1×80.7
32	ジョアン・ミロ	無題	1930	鉛筆、紙	62.0×46.0
33	シャイム・スーティン	吊された鴨	1925頃	油彩、板	93.0×57.0
34	前田 寛治	二人の労働者	1923(大正12)	油彩、画布	144.0×110.5
35	前田 寛治	赤い風景	1923(大正12)頃	油彩、画布	44.0×59.0
36	清水多嘉示	ル・カネーの風景	1926(昭和元)	油彩、画布	54.0×65.0
37	佐伯 祐三	パリ街景	1927(昭和2)	油彩、画布	65.0×81.0
38	レオン・フレデリック	花	1920	油彩、画布	74.8×62.5
39	ワシリー・カンディンスキー	尖端	1920	油彩、画布	110.3×91.8

40	ハンス・アドルフ・ビューラー	神その像の如くに人を創造し給えり	不詳	油彩、厚紙	99.0×79.7
41	カジミール・マレーヴィッチ	飛行／正方形のある7つの黒の要素 （『シュプレマティスム：34の素描』より）	1920	石版、紙	8.0×7.0／7.0×6.0（両面）
42	バレンティン・デ・スピアウレ	聖アンヌの祭日	不詳	油彩、画布	100.0×100.0
43	パウル・クレー	燭台	1937-38	油彩、紙	30.7×21.0
44	ラモン・デ・スピアウレ	オンドロアの港	不詳	油彩、画布	100.5×91.0
45	ベン・ニコルソン	1933（ペインティングーハイビスカス）	1933	油彩・ジェッソ、 キャンバスボード	131.6×55.3
46	フランツ・シュトック	人類の復活	1922	油彩、画布	200.5×120.0

Ⅲ 日本 大正～昭和初期

47	満谷国四郎	緋毛氈	1932（昭和7）	油彩、画布	113.0×154.0
48	坂本繁二郎	黄馬	1930（昭和5）	油彩、画布	44.0×58.5
49	小出 檉重	Nの家族	1919（大正8）	油彩、画布	78.0×90.5
50	梅原龍三郎	裸婦扇	1938（昭和13）	油彩、画布	81.0×61.0
51	岸田 劉生	童女舞姿	1924（大正13）	油彩、画布	91.0×53.0
52	須田国太郎	葛城山	不詳	油彩、画布	52.1×79.6
53	川口 軌外	鸚鵡と少女	1935（昭和10）	油彩、画布	114.0×89.0
54	中山 巍	アトリエの前田と里見	1929（昭和4）	油彩、画布	128.5×160.5
55	里見 勝蔵	扇を持つ女	1932（昭和7）	油彩、画布	65.5×91.5
56	椿 貞雄	菊子像	1922（大正11）	油彩、板	44.5×32.5
57	神原 泰	ヴェルレーヌの「女と猫」	1923（大正12）	油彩、画布	117.0×91.0
58	富本 憲吉	家形水滴	1922（大正11）頃	磁器	7.1×8.0×4.2
59	富本 憲吉	白磁面取壺	1931（昭和6）	磁器	19.4×21.0
60	富本 憲吉	色絵黍文菓子皿	1937（昭和12）	磁器	5.2×19.7×20.0
61	バーナード・リーチ	楽焼走兎図大皿	1919	陶器	6.0×34.0
62	バーナード・リーチ	ガレナ釉筒描蛸文皿	1929	陶器	3.8×21.7
63	バーナード・リーチ	鉄釉染付長屋文管	1934	陶器	7.3×11.2×6.8
64	河井寛次郎	緑釉六方鉢	1937（昭和12）	陶器	10.6×25.2
65	河井寛次郎	呉須辰砂丸文蓋付管	1938（昭和13）	陶器	15.3×21.3×14.2
66	河井寛次郎	窯変蓮華香器	1938（昭和13）	陶器	6.5×10.3
67	濱田 庄司	白掛ガレナ釉茶碗	1922（大正11）	陶器	5.5×14.7
68	濱田 庄司	白掛藍糖黍文花瓶	1925（大正14）	陶器	30.0 ×18.0
69	濱田 庄司	黒釉面取土瓶	1931（昭和6）頃	陶器	18.0×18.8×14.1
70	芹沢 銈介	伊曽保物語屏風	1932（昭和7）	型絵染、絹 （6枚貼付六曲一隻）	各105.4×33.6
71	棟方 志功	二菩薩釈迦十大弟子板画柵	1939（昭和14）	木版（墨摺り）、紙12面組	各94.5×30.3（紙寸）

※寸法は、平面作品は縦×横、立体作品は高さ×径または高さ×幅×奥行

2 北海道立近代美術館開館 40 周年 北海道新聞社創業 130 周年 記念

ゴッホ展 巡りゆく日本の夢

Van Gogh & Japan

- 会 期：平成 29 年 8 月 26 日（土）～10 月 15 日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室 B
主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、NHK 札幌放送局、NHK プラネット北海道
後 援：外務省、オランダ王国大使館、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 PTA 連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会
特別協賛：大和ハウス工業
協 賛：損保ジャパン日本興亜
協 力：KLM オランダ航空、日本航空、ヤマト運輸
共同企画：ファン・ゴッホ美術館

北海道立近代美術館にて、15 年ぶりとなるゴッホ展では、ファン・ゴッホと日本とのかわりを再検証し、二部構成で展覧した。

1853 年にオランダに生まれたフィンセント・ファン・ゴッホは、1886 年にパリに移り、この地でさまざま刺激を受けながら、自らの絵画表現を模索していく。そこで大きな役割を果たしたのが、日本の浮世絵であった。ファン・ゴッホは、浮世絵版画を収集し、それを模写した油彩画を描き、構図や色彩を学び取り、さらには日本を紹介した文章を咀嚼しながら独自の日本イメージを醸成していった。第一部では、ファン・ゴッホ作品と関連する日本の浮世絵作品などによって、ファン・ゴッホにとって創意の源であり、夢にまで見た理想郷でもあった日本のすがたを明らかにした。

一方、1890 年 7 月にファン・ゴッホがパリ近郊のオーヴェール=シュール=オワーズで亡くなったあと、今度は日本人がこの画家を賞賛し、理想化するようになる。ファン・ゴッホが最晩年に交友を持ったオーヴェールの医師ガシェー族のもとには、三冊の芳名録が残されていた。そこには、1920 年代に憧れの画家の終焉の地を訪れ、その足跡をたどった日本の画家や文学者たち 240 名あまりの署名が記されていることが近年の研究により明らかになっている。第二部では、これらの芳名録と署名が残る日本人の作品や関連資料を合わせて紹介し、1920 年代の近代日本の知識人たちによるゴッホ巡礼の実相を明らかにした。

●巡回展

東京都美術館

平成 29 年 10 月 24 日（火）～平成 30 年 1 月 8 日（月）

京都国立近代美術館

平成 30 年 1 月 20 日（土）～3 月 4 日（日）

●展示構成

- 1 パリ 浮世絵との出逢い
- 2 アルル 日本の夢
- 3 深まるジャポニスム
- 4 自然のなかへ 遠ざかる日本の夢
- 5 日本人のファン・ゴッホ巡礼

●図録

縦 285 × 横 225 mm / 184 ページ / ソフトカバー、並製本

執 筆：圀府寺司（大阪大学）、コルネリア・ホンブルク（インディペンデント・キュレーター）、尾本圭子（美術史家）、佐藤幸宏（北海道立近代美術館）、鎌田享（北海道立近代美術館）、松山聖央（北海道立近代美術館）、森本陽香（北海道立近代美術館）、門間仁史（北海道立近代美術館）、岡本純子（東京都美術館）、牧口千夏（京都国立近代美術館）

編 集：北海道立近代美術館、北海道新聞社、NHK、NHK プロモーション

翻 訳：ザ・ワード・ワークス、丸善雄松堂

本文デザイン：野村勝久、坂本実央（野村デザイン研究室）、畑ユリエ（hata design）

カバーデザイン：RAM

制 作：青幻舎

印刷・製本：アイワード

発 行：北海道新聞社、NHK、NHK プロモーション

●カタログ

縦 296 × 横 231 mm / 288 ページ / ハードカバー、上製本

編 者：圀府寺司（大阪大学）、コルネリア・ホンブルク（インディペンデント・キュレーター）、佐藤幸宏（北海道立近代美術館）

執 筆：ニンケ・バウアー（ファン・ゴッホ美術館）、ルイ・ファン・ティルボルフ（ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム大学）、コルネリア・ホンブルク（インディペンデント・キュレーター）、圀府寺司（大阪大学）、クレール・ギトン（美術史家）、尾本圭子（美術史家）、森本陽香（北海道立近代美術

館）、佐藤幸宏（北海道立近代美術館）、松山聖央（北海道立近代美術館）
編集 集：鎌田恵理子（青幻舎）、日下部理佳（時間株式会社）、リンダ・スコフィールド、キャサリン・ハインス
編集協力：スザンヌ・ボフマン（ファン・ゴッホ美術館）、ブレッヒエ・ヘリッツェ（ファン・ゴッホ美術館）、ベティ・クラーセ（ファン・ゴッホ美術館）、鎌田享（北海道立近代美術館）、門間仁史（北海道立近代美術館）、福沢郁代（北海道新聞社）、瀬高圭太（北海道新聞社）、三浦孝二、村山智子
翻訳：安藤智子、高木陽子、サスキア・トゥーレン、村山智子、丸善雄松堂
デザイン：林琢磨（林琢磨デザイン事務所）、鈴木晴奈（林琢磨デザイン事務所）
印刷・製本：アイワード
発行：青幻舎

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チラシ／A3 二つ折り

観覧券／縦 19.0×横 7.0cm（共通券）、縦 16.5×横 7.0cm（共通券以外）

デザイン：畠山デザイン事務所

印刷：山藤三陽株式会社

出品目録／A4 判

印刷：山藤三陽株式会社

●作品展示

ヤマト・ロジスティクス

●会場造作

株式会社六書堂

●関連事業

[特別講演会]

「ジャポネズリーは永遠に ― ファン・ゴッホにとっての日本」

日時：8月26日（土）10時30分～（約90分）

会場：当館講堂（聴講無料）

講師：コルネリア・ホンブルク氏（本展ゲスト・キュレーター、インディペンデント・キュレーター） 通訳あり

[特別講演会]

「ファン・ゴッホ ― 日本の夢をめぐって ―」

日 時：9月9日（土）14時～（約90分）

会 場：当館講堂（聴講無料）

講 師：関府寺司氏（本展総合監修者、大阪大学文学研究科教授）

[学芸員による見どころ解説]

日 時：9月2日（土）、9月16日（土）、9月30日（土）、10月7日（土）
各日14時～（約40分）

会 場：当館講堂（聴講無料）

講 師：9/2＝松山聖央（当館学芸員）、9/16＝門間仁史（当館学芸員）、
9/30＝鎌田享（当館展示・作品課長）、10/7＝森本陽香（当館学芸員）

[ランチ&トーク]

「ゴッホ展 美と食を愉しむランチ&トーク」

日 時：9月6日（水）、9月15日（金）、9月21日（木）
各日11時30分～

会 場：ホテルオークラ札幌、当館展示室B

講 師：9/6＝松山聖央（当館学芸員）、9/15＝森本陽香（当館学芸員）、
9/21＝門間仁史（当館学芸員）

[日曜美術館トークショー]

日 時：9月14日（木）14時30分～

会 場：当館講堂（聴講無料）

出 演：高橋美鈴氏（NHK アナウンサー、「日曜美術館」司会）、鎌田享（当館展示・作品課長）

●主な新聞・雑誌記事等

新聞

北海道新聞

「ゴッホ 日本の夢 ①～⑧」松本悌一

7月2日（日）、7月9日（日）、7月16日（日）、7月23日（日）、
7月30日（日）、8月6日（日）、8月13日（日）、8月20日（日）

「日本に出合い目覚めた色彩」松本悌一 8月22日（火）

「『水夫と恋人』復元進む」松本悌一 8月25日（金）

「ゴッホが夢見た日本 ①～⑧」（出品作紹介）鎌田享、森本陽香、門間仁史、松山聖央
8月28日（月）、8月30日（水）、8月31日（木）、9月1日（金）、
9月4日（月）、9月5日（火）、9月6日（水）、9月7日（木）

「魚眼図 ゴッホ展の通訳」熊谷ユリエ 9月4日（月）

「わたしの好きなゴッホ ①～⑤」	9月15日（金）、9月16日（日）、 9月20日（水）、9月21日（木）、9月22日（金）
「あなたもゴッホになれる！？」高橋澄恵	9月22日（金）
「魚眼図 ゴッホの黄色」乾淑子	9月25日（月）夕刊
「なるほど？ゴッホ展」平野薫	9月26日（火）
「魚眼図 ゴッホと日本の学び合い」樽本英樹	10月4日（水）

ゴッホ展 巡りゆく日本の夢 出品目録

no.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法[cm]	所蔵	前期	後期
1	フィンセント・ファン・ゴッホ	画家としての自画像	1887年	油彩、カンヴァス	65.1×50	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○

1 パリ 浮世絵との出遭い

2	フィンセント・ファン・ゴッホ	花魁(溪斎英泉による)	1887年	油彩、綿布	100.7×60.7	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
3-1		『パリ・イリュストレ』誌 no.45&46合併号 = 1886年5月号 日本特集	1886年5月	書籍(カバーあり)	44.2×32.5	及川茂コレクション	○	
3-2		『パリ・イリュストレ』誌 no.45&46合併号 = 1886年5月号 日本特集	1886年5月	書籍(合本)	44.2×33.1×厚3.7	及川茂コレクション		○
3-3		『パリ・イリュストレ』誌 no.45&46合併号 = 1886年5月号 日本特集	1886年5月	書籍(カバーなし)	44.4×33.2×厚0.3	及川茂コレクション	○	○
4-2	溪斎英泉	雲龍打掛の花魁	1820～30年代 (文政後期～天保前期)	木版、紙 (縦大判錦絵 縦2枚続)	70.6×25.0	及川茂コレクション	○	
4-3	溪斎英泉	雲龍打掛の花魁	1820～30年代 (文政後期～天保前期)	木版、紙 (縦大判錦絵 縦2枚続) 軸装	72.2×24.8	及川茂コレクション		○
5-2	龍明 ●谷 ●=[雨]冠に[會]	芸者と富士	1870年代(明治初期)	木版、紙 (縦大判判りちめん絵) 軸装	59×40.5	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
6	二代 歌川芳丸	新板虫尽	1883(明治16)年	木版、紙(縦大判錦絵)	37×25	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
7	フィンセント・ファン・ゴッホ	エソギク、サルビアを生けた花瓶	1886年	油彩、カンヴァス	70.3×34.2	ハーグ市立美術館	○	○
8	フィンセント・ファン・ゴッホ	三冊の小説	1887年	油彩、板	31.1×48.5	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
9	フィンセント・ファン・ゴッホ	カフェル・タンブランのアゴ스티ーナ・セガ トーリ	1887年	油彩、カンヴァス	55.5×47	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
10	歌川広重	名所江戸百景 / 大はしあたけの夕立	1857(安政4)年	木版、紙(縦大判錦絵)	34.6×22.7	中右コレクション		○
11	歌川広重	名所江戸百景 / 亀戸梅屋敷	1857(安政4)年	木版、紙(縦大判錦絵)	35.1×24.1	中右コレクション	○	
12	歌川広重	五十三次名所図会 / 十四 原 あし廬山不二眺望	1855(安政2)年	木版、紙(縦大判錦絵)	36.7×25.0	中右コレクション		○
13-1	歌川広重	五十三次名所図会 / 四十五 石薬師 義経さくら範頼の祠	1855(安政2)年	木版、紙(縦大判錦絵)	37.3×25.5	及川茂コレクション	○	
13-2	歌川広重	五十三次名所図会 / 四十五 石薬師 義経さくら範頼の祠	1855(安政2)年	木版、紙(縦大判錦絵)	36.7×24.9	中右コレクション		○
14	歌川広重	富士三十六景 / さがみ川	1858(安政5)年	木版、紙(縦大判錦絵)	37.7×25.6	及川茂コレクション	○	
15	二代 歌川広重	新撰花鳥尽	1850年代 (嘉永年間～安政年間)	木版、紙(縦中判錦絵) 折本装(全8図)	各23.5×17.5	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
16	フィンセント・ファン・ゴッホ	テオ・ファン・ゴッホ宛書簡中の スケッチ(書簡492/615)	1888年5月28日	ペン・インク、紙	20.3×26.4	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
17	エミール・ガレ	鯉文花器	1878年頃	ガラス(型吹き、エナメル彩)	径22.8×高28.5	北海道立近代美術館	○	○
18	エドゥアール・マネ	白菊の図	1881年	油彩、紙	17×59	茨城県近代美術館		○
19	アンリ・ド・トゥールーズ =ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892年	リトグラフ、紙	80.4×60.0	北海道立帯広美術館	○	○

2 アルル 日本の夢

21	フィンセント・ファン・ゴッホ	雪景色	1888年	油彩、カンヴァス	50×60	個人蔵	○	○
22	歌川広重	東海道五拾三次 / 蒲原	1833～34(天保4～5)年	木版、紙(横大判錦絵)	23.5×36.3	中右コレクション	○	
23	歌川広重	東海道五拾三次 / 亀山	1833～34年(天保4～5)年	木版、紙(横大判錦絵)	23.6×36.4	中右コレクション		○
24	歌川広重	五十三次名所図会 / 十三 沼津 足柄山不二雪晴	1855(安政2)年	木版、紙(縦大判錦絵)	36.7×24.9	中右コレクション	○	
25	歌川広重	五十三次名所図会 / 廿八 藤川 山中の里別名宮路山	1855(安政2)年	木版、紙(縦大判錦絵)	36.7×24.9	中右コレクション		○
26	フィンセント・ファン・ゴッホ	アイリスの咲くアルル風景	1888年	油彩、カンヴァス	54×65	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
27	フィンセント・ファン・ゴッホ	糸杉の見える花咲く果樹園	1888年	油彩、カンヴァス	64.9×81.2	クレラー=ミュラー美術館	○	○
28	フィンセント・ファン・ゴッホ	花咲くアモンドの木	1888年	油彩、カンヴァス	50×37.5	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
29	フィンセント・ファン・ゴッホ	ヴィゲラ運河にかかるグレース橋	1888年	油彩、カンヴァス	46.8×51.3	ボーラ美術館	○	○
30	フィンセント・ファン・ゴッホ	運河ラ・ルーベース・デュ・ロフと洗濯女たち	1888年	ペン・筆ペン・黒インク・ 黒チョーク、紙	31.8×24.2	クレラー=ミュラー美術館	○	
31	フィンセント・ファン・ゴッホ	麦畑	1888年	油彩、カンヴァス	50.0×61.0	デ・プール財団、アムステルダム	○	○
32	フィンセント・ファン・ゴッホ	サント=マリーの海	1888年	油彩、カンヴァス	44.5×54.5	ブーシキン美術館	○	○
33	葛飾北斎	富嶽三十六景 / 武陽佃島	1831～33(天保2～4)年頃	木版、紙(横大判錦絵)	25.6×38.5	株式会社ニトリ	○	○
34	歌川広重	五十三次名所図会 / 廿四 島田 大井川駿岸	1855(安政2)年	木版、紙(縦大判錦絵)	36.8×25.0	中右コレクション		○

no.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法[cm]	所蔵	前期	後期
35	フィンセント・ファン・ゴッホ	サント＝マリーの道	1888年	油彩、カンヴァス	38.4×46	個人蔵	○	○
36	葛飾北斎	北斎漫画／七編	1817(文化14)年	木版、紙(墨摺版本)	22.7×15.7×厚0.7	山口県立萩美術館・浦上記念館	○	○
37	葛飾北斎	富嶽百景／初編	1834(天保5)年	木版、紙(墨摺版本)	22.8×15.7×厚0.9	山口県立萩美術館・浦上記念館	○	○
38	葛飾北斎	富嶽百景／二編	1835(天保6)年	木版、紙(墨摺版本)	22.8×15.8×厚0.8	山口県立萩美術館・浦上記念館	○	○
39	葛飾北斎	富嶽百景／三編	不詳	木版、紙(墨摺版本)	22.8×15.8×厚0.9	山口県立萩美術館・浦上記念館	○	○
40	葛飾北斎	富嶽三十六景／神奈川沖浪裏	1831～33(天保2～4)年頃	木版、紙(横大判錦絵)	26.0×38.2	株式会社ニトリ	○	○
41	葛飾北斎	富嶽三十六景／山下白雨	1831～33(天保2～4)年頃	木版、紙(横大判錦絵)	25.0×37.3	株式会社ニトリ	○	○
42	歌川国貞	江戸八景／木母寺暮雪	不詳	木版、紙 (縦大判錦絵 横3枚続)	左36.4×25.2 中36.5×25.2 右36.4×25.1	北海道立近代美術館	○	
43	歌川国貞	深川新地 月下の三美人	不詳	木版、紙 (縦大判錦絵 横3枚続)	左37.7×25.7 中37.4×25.8 右37.7×25.7	北海道立近代美術館		○
44	歌川国貞	すみだ川花の景	不詳	木版、紙 (縦大判錦絵 横3枚続)	左37.4×26.0 中37.4×25.9 右37.5×26.0	北海道立近代美術館	○	
45	二代 歌川国貞	今様松鴉霽 東京許遊之一廊 今様歌舞之妓場 松本樓金瓶大黒	1870(明治3)年	木版、紙 (縦大判錦絵 横3枚続)	左36×25 中36×25 右36×25	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
46	歌川芳虎	御殿山盛花の三美人	1847～48(弘化4～5)年	木版、紙 (縦大判錦絵 横3枚続)	左35.7×24.2 中35.8×23.1 右35.8×25.1	及川茂コレクション		○
47	フィンセント・ファン・ゴッホ	水夫と恋人	1888年	油彩、カンヴァス	32.5×23	個人蔵	○	○
48	フィンセント・ファン・ゴッホ	ラングロワの橋	1888年	黒チョークの上に茶色インク、紙	24.4×31.9	ロサンゼルス・カウンティ美術館 (ジョージ・ガード・デ・シルヴァ・コレクション)		
49	フィンセント・ファン・ゴッホ	種まく人	1888年	油彩、カンヴァス	32.5×40.3	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
50	フィンセント・ファン・ゴッホ	木の幹	1888年	ペン・セピアインク、紙	25.4×33.3	ヴァージニア美術館 (ポール・メロン夫妻コレクション)	○	○
51	歌川広重	東海道五拾三次／濱松	1833～34(天保4～5)年	木版、紙(横大判錦絵)	23.7×36.3	中右コレクション	○	
52	フィンセント・ファン・ゴッホ	櫛のある公園	1888年	鉛筆・亜ベン・インク、紙	31.9×24.4	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)		
53	フィンセント・ファン・ゴッホ	麦畑と太陽	1889年	黒チョーク・亜ベン・黒インク・ 白の不透明水彩、紙	47.5×56.6	クレラー＝ミュラー美術館		○
54	フィンセント・ファン・ゴッホ	けしの咲く畑	1889年	インク、紙	49.8×64.9	個人蔵	○	
55	ルイ・ゴンス 著	『日本美術』	1883年	書籍(全2巻)	36.8×28.5×厚5.2 37.0×29.0×厚5.5	及川茂コレクション	○	○
56-1	ジークフリート・ピング 編	『藝術の日本』誌 第1号 = 1888年5月号	1888年5月	書籍	35.0×25.5	及川茂コレクション	○	○
56-2	ジークフリート・ピング 編	『藝術の日本』誌 第19号 = 1889年11月号	1889年11月	書籍(合本)	33.0×25.8×厚4.4	個人蔵	○	○
57-1		1890年パリ浮世絵展 カタログ	1890年	書籍	27.7×18.8×厚1.5	国立国会図書館	○	
57-2		1890年パリ浮世絵展 カタログ	1890年	書籍	27.4×20.0×厚1.3	園府寺 司 氏		○

3 深まるジャポニスム

58	フィンセント・ファン・ゴッホ	寝室	1888年	油彩、カンヴァス	72.4×91.3	ファン・ゴッホ美術館 (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)	○	○
59	フィンセント・ファン・ゴッホ	タラスコンの乗合馬車	1888年	油彩、カンヴァス	71.4×92.5	ヘンリー＆ローズ・バールマン財団(プリンストン大学美術館長期貸与)	○	○
60	フィンセント・ファン・ゴッホ	アルルの公園の入り口	1888年	油彩、カンヴァス	72.4×90.8	フィリップス・コレクション、 ワシントン D. C.	○	○
61	フィンセント・ファン・ゴッホ	アルルの女(ジヌー夫人)	1890年	油彩、カンヴァス	61×50	ローマ国立近代美術館	○	○
62	フィンセント・ファン・ゴッホ	男の肖像	1888年	油彩、カンヴァス	65.3×54.4	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
63	東洲斎写楽	市川鯉藏の竹村定之進	1794(寛政6)年	木版、紙(縦大判錦絵)	35.7×22.2	株式会社ニトリ	○	○
64	三代 歌川豊国(歌川国貞)	三世岩井栄三郎の三浦屋の高尾	1861(文久元)年	木版、紙(縦大判錦絵)	36.3×24.7	及川茂コレクション	○	
65	歌川国貞	当世美人合／辰巳	不詳	木版、紙(縦大判錦絵)	38.2×25.5	北海道立近代美術館		○
66	歌川国貞	当世夏景色／朝かほ	不詳	木版、紙(縦大判錦絵)	36.9×25.9	北海道立近代美術館	○	
67	歌川国貞	当世夏景色／かや商	不詳	木版、紙(縦大判錦絵)	38.7×26.2	北海道立近代美術館		○
68	歌川国芳	当盛江戸鹿子／茅場町薬師	不詳	木版、紙(縦大判錦絵)	36.2×24.8	北海道立近代美術館	○	
69	歌川国芳	当盛江戸鹿子／三めぐり	不詳	木版、紙(縦大判錦絵)	37.3×25.1	北海道立近代美術館		○
70	溪斎英泉	よしはらやうじ廊の四季志／ 二月 大神楽 尾張屋内長尾	不詳	木版、紙(縦大判錦絵)	37.2×25.4	北海道立近代美術館	○	
71	溪斎英泉	吉原要事廊四季志／ 四月 客の行かい 岡本屋内管之助	不詳	木版、紙(縦大判錦絵)	37.2×25.2	北海道立近代美術館		○
72	溪斎英泉	吉原美人／ いてのやまぶき 扇屋内鳩照	不詳	木版、紙(縦大判藍摺絵)	38.5×25.5	北海道立近代美術館	○	
73	溪斎英泉	吉原美人／ 八潮のしのぶ 扇屋内朝妻	不詳	木版、紙(縦大判藍摺絵)	38.6×25.4	北海道立近代美術館		○
74	フィンセント・ファン・ゴッホ	ムスメの肖像	1888年	亜ベン・茶および黒インク・ 鉛筆、紙	32.5×24.5	ブーシキン美術館	○	
75	フィンセント・ファン・ゴッホ	夾竹桃と本のある静物	1888年	油彩、カンヴァス	60.3×73.7	メトロポリタン美術館 (ジョン・L・ロープ夫妻寄贈)	○	○

no.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法[cm]	所蔵	前期	後期
76	ビエール・ロティ 著	『お菊さん』	1888年	書籍	22.7×16.3×厚3.5	園府寺 司 氏	○	○
77	フィンセント・ファン・ゴッホ	オレンジ、レモン、青い手袋のある静物	1889年	油彩、カンヴァス	48×62	ワシントン・ナショナル・ギャラリー（ポー・ル・メロン夫妻コレクション）	○	○
78	フィンセント・ファン・ゴッホ	オリーブ園	1889年	油彩、カンヴァス	72.4×91.9	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
79	フィンセント・ファン・ゴッホ	オリーブを摘む人々	1889年	油彩、カンヴァス	73.3×92.2	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
80	フィンセント・ファン・ゴッホ	溪谷（レ・ペイルレ）	1889年	油彩、カンヴァス	73.2×93.3	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
81	歌川広重	五十三次名所図会／ 四十九 坂の下 岩窟の観音	1855（安政2）年	木版、紙（縦大判錦絵）	36.7×24.9	中右コレクション	○	
82	歌川広重	東海道五拾三次／箱根	1833～34（天保4～5）年	木版、紙（横大判錦絵）	23.5×37.2	中右コレクション	○	
83	歌川広重	東海道五拾三次／大津	1833～34（天保4～5）年	木版、紙（横大判錦絵）	24.7×36.7	中右コレクション		○
84	歌川広重	東海道五拾三次／庄野	1833～34（天保4～5）年	木版、紙（横大判錦絵）	23.8×36.4	中右コレクション		○

4 自然の中へ 遠ざかる日本の夢

85	フィンセント・ファン・ゴッホ	アニエールの公園	1887年	油彩、カンヴァス	49×65.5	個人蔵	○	○
86	フィンセント・ファン・ゴッホ	蝶の舞う庭の片隅	1889年	油彩、カンヴァス	51×61.5	個人蔵	○	○
87	フィンセント・ファン・ゴッホ	河岸の木々	1887年	油彩、カンヴァス	37.7×46.0	デ・ブル財団、アムステルダム	○	○
88	フィンセント・ファン・ゴッホ	下草とキツタのある木の幹	1889年	油彩、カンヴァス	73×92.3	ファン・ゴッホ美術館 （フィンセント・ファン・ゴッホ財団）	○	○
89	フィンセント・ファン・ゴッホ	草むらの中の幹	1890年	油彩、カンヴァス	72.5×91.5	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
90	フィンセント・ファン・ゴッホ	蝶とけし	1889年	油彩、カンヴァス	35×25.5	ファン・ゴッホ美術館 （フィンセント・ファン・ゴッホ財団）	○	○
91	フィンセント・ファン・ゴッホ	ヤママユガ	1889年	油彩、カンヴァス	33.5×24.5	ファン・ゴッホ美術館 （フィンセント・ファン・ゴッホ財団）	○	○
92	フィンセント・ファン・ゴッホ	アルム	1889年	筆・ペン・インク、紙	31.4×41.3	ファン・ゴッホ美術館 （フィンセント・ファン・ゴッホ財団）	○	○
93	フィンセント・ファン・ゴッホ	花咲く灌木	1889年	筆・溶き油・インク、紙	61.4×46.7	クレラー＝ミュラー美術館		○
94	フィンセント・ファン・ゴッホ	ヒヤシンス	1889年	鉛筆・筆・インク、紙	41.2×30.9	ファン・ゴッホ美術館 （フィンセント・ファン・ゴッホ財団）	○	○
95	不詳	東都名所／いり屋	1870～1900年代（明治年間）	木版、紙（縦大判ちりめん絵）	33.9×27.0	山口県立萩美術館・浦上記念館		○
96	不詳	三十六花撰／東都入谷朝顔	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	23.1×16.8	及川茂コレクション	○	
97	不詳	三十六花撰／東京大森山本紅梅	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	22.7×16.7	及川茂コレクション		○
98	不詳	花鳥四季鏡／松・藤・秋海棠・鮎・カワセミ	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	28.0×19.5	及川茂コレクション	○	
99	不詳	花鳥畫圖／ 牡丹・ヤマ覆盆子・白頬鳥・金翅雀	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	28.2×19.5	及川茂コレクション		○
100	不詳	東京名所／五ツ目	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	27.8×19.5	及川茂コレクション	○	
101	不詳	東京名勝圖會／梅屋敷	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	27.1×19.4	及川茂コレクション		○
102	不詳	十二月之内／四月 甘茶	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	28.3×19.6	及川茂コレクション	○	
103	不詳	十二月之内／六月 天王御祭禮	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	27.4×19.3	及川茂コレクション		○
104-1	不詳	雁に秋草	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	27.6×19.5	及川茂コレクション	○	
104-2	不詳	雁に秋草	不詳	木版、紙（縦中判ちりめん絵）	27.2×20.0	及川茂コレクション		○
105	フィンセント・ファン・ゴッホ	ボブラ林の中の二人	1890年	油彩、カンヴァス	49.5×99.7	シンシナティ美術館 （メアリー・E・ジョンストン遺贈）	○	○
106	ルイ・デュムーラン	茶屋（江ノ島）	1888年または1895年頃	油彩、板	21.2×50	個人蔵	○	○
107	ジュール・シェレ	ルイ・デュムーラン展、 ジョルジュ・ブティ画廊 ポスター	1889年	リトグラフ、紙	121.6×88.3	園府寺 司 氏	○	○

5 日本人のファン・ゴッホ巡礼

108-1	フィンセント・ファン・ゴッホ	ガッシェ博士の肖像	1890年	エッチング、紙	18.0×14.7	東京藝術大学大学美術館	○	○
109		芳名録Ⅰ：初編	1922（大正11）年	芳名録	18×14×厚0.8	国立ギメ東洋美術館	○	○
110-1	黒田重太郎	『ヅン・ゴオグ（泰西名畫家傳Ⅰ）』	1921（大正10）年	書籍	21.5×14×厚2.8	国立ギメ東洋美術館	○	○
110-2	黒田重太郎	『ヅン・ゴオグ（泰西名畫家傳Ⅰ）』	1921（大正10）年	書籍	21.5×14×厚2.8	北海道立近代美術館	○	○
111	中澤弘光	外遊日誌	1922（大正11）年	日記	20.6×13.3×厚1.3	三重県立美術館	○	○
112	中澤弘光	オーヴェール	1922（大正11）年9月25日付	鉛筆、紙	19.3×11.6	三重県立美術館	○	○
113	中澤弘光	ひまわり咲くゴッホの墓、オーヴェール	1922（大正11）年9月24日付	鉛筆、紙	19.2×11.6	三重県立美術館	○	○
114	中澤弘光	オテル・デュ・カドラン、オーヴェール	1922（大正11）年9月25日付	鉛筆、紙	19.2×11.6	三重県立美術館	○	○
115	中澤弘光	オテル・デュ・カドラン、 ヴィクトル・ユゴー通り、オーヴェール	1922（大正11）年9月25日付	鉛筆、紙	19.5×11.6	三重県立美術館	○	○
116	中澤弘光	オーヴェール	1922（大正11）年9月25日 （推定）	鉛筆、紙	19.3×11.6	三重県立美術館	○	○
117	間部時雄	中沢弘光宛葉書	1922（大正11）年12月2日付	葉書	8.8×13.8	三重県立美術館	○	○
118	里見勝蔵	「ゴッホに関する通信」	『白樺』第13巻1号 〔1922（大正11）年1月〕	書籍	22.0×15.0×厚3.5	北海道立文学館	○	○
119-1		里見勝蔵写真アルバム／ ゴッホ兄弟の墓を訪れた間部時雄、国松桂 溪、里見勝蔵、	1922（大正11）年頃	写真	8.1×10.7	山内滋夫 氏	○	○

no.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法[cm]	所蔵	前期	後期
119-2		里見勝蔵写真アルバム／ ガシェ家を訪れた里見勝蔵と間部時雄、その友人たち	1924(大正13)年頃	写真	4.9×8.3	山内滋夫 氏	○	○
119-3		里見勝蔵写真アルバム／ ガシェ家を訪れた里見勝蔵と前田寛治、その友人たち	1923(大正12)年6月10日 (推定)	写真	4.5×7.0	山内滋夫 氏	○	○
120		ガシェ家を訪れた里見勝蔵と その友人たち	1923(大正12)年頃	写真	8.7×13.8	山内滋夫 氏	○	○
121	里見勝蔵	オーヴェールの正面	1924(大正13)年	油彩、カンヴァス	50.0×60.0	個人蔵	○	○
122	ポール・ルイ・ガシェ	里見勝蔵宛葉書	1922(大正11)年6月7日付	葉書	8.9×13.8	山内滋夫 氏	○	○
123	ポール・ルイ・ガシェ	里見勝蔵宛葉書	1923(大正12)年5月16日付	葉書	9.0×13.1	山内滋夫 氏	○	○
124	ポール・ルイ・ガシェ	里見勝蔵宛葉書	1924(大正13)年(月不明) 10日付	葉書	9.0×14.1	山内滋夫 氏	○	○
125	ポール・ルイ・ガシェ	里見勝蔵宛葉書	1925(大正14)年(月不明) 10日付	葉書	8.9×13.9	山内滋夫 氏	○	○
126	里見勝蔵	フィンセント・ウィレム・ファン・ ゴッホ宛書簡草稿(邦語)	1952(昭和27)年6月5日付	草稿(全6枚)	各17.8×25.2	山内滋夫 氏	○	○
127	里見勝蔵	フィンセント・ウィレム・ファン・ ゴッホ宛書簡草稿(仏語)	1952(昭和27)年6月5日付	草稿(全5枚)	各30.3×20.8	山内滋夫 氏	○	○
128	里見勝蔵	ポール・ルイ・ガシェ宛書簡草稿 (邦語)	1952(昭和27)年6月19日付	草稿(全3枚)	各17.8×25.2	山内滋夫 氏	○	○
129	里見勝蔵	ポール・ルイ・ガシェ宛書簡草稿 (仏語)	1952(昭和27)年6月19日付	草稿(全3枚)	各30.3×20.8	山内滋夫 氏	○	○
130	里見勝蔵	フィンセント・ウィレム・ファン・ ゴッホ宛書簡草稿(仏語)	1952(昭和27)年8月14日付	草稿(全3枚)	各30.3×21.3	山内滋夫 氏	○	○
131		ゴークの思ひ出 彼の袂より見出せる版畫	1921(大正10)年10月付	浮世絵アルバム (全14点収録)	41×29×厚0.5	国立ギメ東洋美術館	○	○
134	佐藤春夫(著)、 谿伊之助(挿絵)	『絵入みよ子』	1933(昭和8)年	書籍	26.2×18.5×厚0.6	国立ギメ東洋美術館	○	○
135	谿伊之助(訳)	『ゴッホの手紙(ベルナール宛)上』	1955(昭和30)年	書籍	15×10.6×厚1	国立ギメ東洋美術館	○	○
136		芳名録Ⅱ	1922～28(大正11～昭和3)年	芳名録	23×23×厚0.8	国立ギメ東洋美術館	○	○
137-1	斎藤茂吉	折本画帖／斎藤茂吉による短歌	1924(大正13)年11月2日付	墨、紙	23.7×35.4	国立ギメ東洋美術館	○	○
138	前田寛治	ゴッホの墓	1923(大正12)年	油彩、カンヴァス	50.0×60.5	個人蔵	○	○
139	前田寛治	「滞仏中の思い出―ゴッホの墓―」	『美術新論』第3巻6号 〔1928(昭和3)年6月〕	書籍	21.5×14.8	北海道立近代美術館	○	○
140	吹田草牧(憲一)	里見勝蔵宛葉書	1923(大正12)年7月20日 消印	葉書	8.9×13.8	山内滋夫 氏	○	○
141	吹田草牧	渡欧日記 第六巻 仏蘭西	1923(大正12)年3月21日～ 6月25日	日記	20.9×17.0×厚1.2	笠岡市立竹喬美術館	○	○
142	石崎光温	里見勝蔵宛葉書	1923(大正12)年6月12日 消印	葉書	8.9×13.4	山内滋夫 氏	○	○
143	足立源一郎	「医師ポール・フェルディナン・ガッシュ(3)」	『アトリエ』3巻2号 〔1926(大正15)年3月〕	書籍	22.3×14.5	国立ギメ東洋美術館	○	○
144	佐伯祐三	オーヴェールの教会	1924(大正13)年	油彩、カンヴァス	59.5×71.5	鳥取県立博物館	○	○
145	斎藤茂吉	滞欧手帳13	1924(大正13)年	日記	16.3×10.5×厚0.5	斎藤茂吉記念館	○	○
146	斎藤茂吉	「ゴオホ 塙に囲まれた青野」	『アララギ』31巻8号 〔1938(昭和13)年8月〕	書籍	22.0×15.0×厚0.7	北海道立文学館	○	○
147	結城素明	ガシェの肖像	1924(大正13)年	墨、紙	24.5×35.2	国立ギメ東洋美術館	○	○
148	長谷川路可ほか	日本人画家たちによるポール・ガシェへの感謝状	1926(大正15)年5月26日付、 パリにて	墨、紙	30.0×45.0	国立ギメ東洋美術館		
149	佐分真	巴里日記	1927(昭和2)年	日記(全2冊)	19.4×14.0×厚2.7 22.6×17.5×厚1.5	中井能統 氏	○	○
150	橋本閑雪	オーヴェール訪問時の記録映像 ①ガシェ氏ヲ訪フ ②ゴッホノ墓ニ詣ル	1927(昭和2)年10月30日	16mmフィルム	①30秒 ②41秒	白沙村荘 橋本閑雪記念館	○	○
151		芳名録Ⅲ：出頭没頭	1929～39(昭和4～14)年	芳名録	18×27×厚0.8	国立ギメ東洋美術館	○	○
152-1	フィンセント・ファン・ ゴッホ(著) 式場隆三郎(訳)	『ヴァン・ゴッホ ある藝術家への手紙』	1925(大正14)年	書籍	21.5×15.5×厚2.2	国立ギメ東洋美術館	○	○
152-2	フィンセント・ファン・ ゴッホ(著) 式場隆三郎(訳)	『ヴァン・ゴッホ ある藝術家への手紙』	1925(大正14)年	書籍	21.5×15.5×厚2.2	式場隆史 氏	○	○
153-1	式場隆三郎	『ファン・ホッホの生涯と精神病』	1932(昭和7)年	書籍(全2巻)	28×21×厚7.5 28×21×厚7.0	国立ギメ東洋美術館	○	○
153-2	式場隆三郎	『ファン・ホッホの生涯と精神病』	1932(昭和7)年	書籍(全2巻)	28×21×厚7.5 28×21×厚7.0	式場隆史 氏	○	○
154	フィンセント・ウィレム・ ファン・ゴッホ	式場隆三郎宛書簡	1932(昭和7)年12月23日付	書簡	書簡27.6×21.6 封筒12.4×15.3	式場隆史 氏	○	○
155	フィンセント・ウィレム・ ファン・ゴッホ	式場隆三郎宛書簡の翻訳原稿	1932(昭和7)年12月23日付	原稿(全3枚)	各23.8×16.0	式場隆史 氏	○	○
156-1	ポール・ルイ・ガシェ(編)	「印象派畫家の手紙」	『中央公論』第48巻11号 〔1933(昭和8)年11月〕	書籍	21×30	国立ギメ東洋美術館	○	○
156-2	ポール・ルイ・ガシェ(編)	「印象派畫家の手紙」	『中央公論』第48巻11号 〔1933(昭和8)年11月〕	書籍	22.2×15.0×厚2.8	北海道立近代美術館	○	○
157-1	ポール・ルイ・ガシェ(序文) 式場隆三郎(訳)	『兄フィンセントに宛てた テオ・ファン・ホッホの手紙』	1934(昭和9)年	書籍	19.5×13.5×厚2	国立ギメ東洋美術館	○	○
157-2	ポール・ルイ・ガシェ (序文) 式場隆三郎(訳)	『兄フィンセントに宛てた テオ・ファン・ホッホの手紙』	1934(昭和9)年	書籍	19.5×13.5×厚2	式場隆史 氏	○	○

no.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法[cm]	所蔵	前期	後期
158	ボール・ルイ・ガシェ	『兄フィンセントに宛てたテオ・ファン・ゴッホの手紙』の序文原稿	1933(昭和8)年5月1日付	原稿(全7枚)	各27.0×21.0	式場隆史 氏	○	○
159-1	ボール・ルイ・ガシェ(編) 式場隆三郎(訳)	『印象派画家の手紙』	1935(昭和10)年	書籍	23×16.5×厚2.2	国立ギメ東洋美術館	○	○
159-2	ボール・ルイ・ガシェ(編) 式場隆三郎(訳)	『印象派画家の手紙』	1935(昭和10)年	書籍	22.7×15.8×厚2.0	式場隆史 氏	○	○
159-3	ボール・ルイ・ガシェ(編) 式場隆三郎(訳)	『印象派画家の手紙』	1935(昭和10)年	書籍	23.0×16.2×厚2.4	北海道立近代美術館	○	○
160	ボール・ルイ・ガシェ	式場隆三郎宛書簡	1936(昭和11)年11月18日付	書簡(全3枚)	各26.8×20.9	式場隆史 氏	○	○
161	ボール・ルイ・ガシェ	式場隆三郎宛書簡の翻訳原稿	1936(昭和11)年11月18日付	原稿(全4枚)	各23.0×30.2	式場隆史 氏	○	○
162		山本發次郎の家族と式場隆三郎 (山本邸の玄関ホールにて)	山本發次郎による献辞 〔1936(昭和11)年9月16日付〕	写真	写真11.0×14.7 台紙26.5×20	国立ギメ東洋美術館	○	○
163	ボール・ルイ・ガシェ (手記) 式場隆三郎(訳註)	「版画家としてのセザンヌ」	『中央公論』 1937(昭和12)年6月号	書籍	22×14.5	国立ギメ東洋美術館	○	○
164	ボール・ルイ・ガシェ	「版画家としてのセザンヌ」原稿	1937(昭和12)年	原稿(全8枚)	各27.0×20.8	式場隆史 氏	○	○
165	式場隆三郎	フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ宛書簡草稿(英語)	1951(昭和26)年7月25日付	原稿(全3枚)	各30.0×20.4	式場隆史 氏	○	○
166	フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ	式場隆三郎宛書簡	1951(昭和26)年8月28日付	書簡	書簡27.4×21.4 封筒11.2×14.4	式場隆史 氏	○	○
167	式場隆三郎	フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ宛書簡草稿(英語)	1951(昭和26)年10月20日付	原稿	30.0×21.0	式場隆史 氏	○	○
168	フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ	式場隆三郎宛葉書	1952(昭和27)年1月18日付	葉書	10.4×14.9	式場隆史 氏	○	○
169	ボール・ルイ・ガシェ	式場隆三郎宛葉書	1952(昭和27)年5月1日付	葉書	15.1×11.0	式場隆史 氏	○	○
170	ボール・ルイ・ガシェ	式場隆三郎宛葉書の翻訳原稿	1952(昭和27)年5月1日付	原稿	26.9×18.2	式場隆史 氏	○	○
171	ボール・ルイ・ガシェ		1952(昭和27)年頃	写真	17.3×12.6	式場隆史 氏	○	○
172		式場隆三郎(フランスにて)	1952(昭和27)年7月	写真	10.5×14.9	式場隆史 氏	○	○
173		式場隆三郎 (ゴッホが描いたオーヴェールの教会の前で、1952年7月15日夕)	1952(昭和27)年7月15日	写真	13.7×9.9	式場隆史 氏	○	○
174		式場隆三郎 (ゴッホの墓の傍らで、1952年7月15日)	1952(昭和27)年7月15日	写真	6.3×8.7	式場隆史 氏	○	○
175-1	奥山權八郎	ゴッホ作《タンギー爺さん》による版画	1952(昭和27)年	木版、紙	42.7×30.0	国立ギメ東洋美術館		
175-2	奥山權八郎	ゴッホ作《タンギー爺さん》による版画	1952(昭和27)年	木版、紙	42.5×28.7	式場隆史 氏		
175-3	奥山權八郎	ゴッホ作《タンギー爺さん》による版画	1952(昭和27)年	木版、紙	40.5×28.7	式場隆史 氏	○	○
176		ガシェ家を訪れた高田博厚と友人たち	1939(昭和14)年4月23日	写真(複写)	13.0×18.0	個人蔵	○	○
177		ゴッホ兄弟の墓を訪れた高田博厚と友人たち	1939(昭和14)年4月23日	写真(複写)	12.0×16.5	個人蔵	○	○
178		「ファン・ゴッホ展 1929」の芳名録	1929(昭和4)年	芳名録	33.0×23.0×厚2.0	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
179		H. クレラー＝ミュラー夫人の 絵画コレクション目録	1921年	目録	21.0×14.5×厚1.0	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
180		H. クレラー＝ミュラー夫人の 絵画コレクション目録 第2巻	1928年	目録	20.8×14.5×厚0.8	クレラー＝ミュラー美術館	○	○
181	佐分真	北欧日記	1927(昭和2)年	日記(全2冊)	22.4×18.0×厚2.2 22.6×17.8×厚3.0	中井能統 氏	○	○

※前期展示期間:8月26日(土)～9月18日(月・祝)、後期展示期間:9月20日(水)～10月15日(日)

※寸法は、縦×横または縦×横×厚さ

3 北海道立近代美術館開館 40 周年 北海道美術館協力会アルテピア設立 40 周年 記念

近美と協力会の 40 年

Art Week Special

会期：平成 29 年 11 月 1 日（水）～11 月 7 日（火）

会場：北海道立近代美術館 展示室 B

主催：北海道立近代美術館、北海道美術館協力会アルテピア

1977 年に開館した北海道立近代美術館は、今年 40 周年を迎えた。この 40 年をともに歩んできたのが、同じ年に設立された北海道美術館協力会である。協力会は、初期には店部・解説部・資料部の 3 部体制から活動を始め、現在では事業部・広報部・研修部・特別活動部を加えた 7 部体制となって、あらゆる場面で美術館活動を支えるほか、絵画の寄贈も行ってきた。本展では、協力会が購入・寄贈した作品のうち 4 点を展覧し、近美と協力会の 40 年の歴史を振り返った。

●展示構成

- 1 近美と協力会
- 2 絵画寄贈の活動
- 3 40 年のあゆみ
- 4 協力会の活動

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社松原建装

近美と協力会の40年 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	マリー・ローランサン	三人の娘	1943年	油彩・キャンバス	61.0×49.8
2	マリー・ローランサン	犬と三人の乙女	1930～40年	水彩・紙	27.5×37.5
3	松島 正幸	新緑の札幌	1981(昭和56)年	油彩・キャンバス	72.5×91.0
4	藤田 嗣治	家族の肖像	1954(昭和29)年	油彩・ボード	17.5×12.5

※寸法は、縦×横

4 追悼特別展 高倉健

Retrospective KEN TAKAKURA

会 期：平成 29 年 11 月 22 日（水）～平 30 年 1 月 21 日（日）

会 場：北海道立近代美術館 展示室 B

主 催：北海道立近代美術館、毎日新聞社

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

特別協力：高倉プロモーション

協 力：一般社団法人日本映画製作者連盟

特別協賛：健康家族

1956（昭和 31）年のデビューから任侠映画で一世代を築き、日本を代表する俳優として活躍した高倉健（1931- 2014）は、生涯 205 本の映画に出演したが、そのうち 30 本以上が北海道でロケを行った映画である。「幸福の黄色いハンカチ」[1977（昭和 52）年]や「鉄道員（ぽっぽや）」[1999（平成 11）年]など北海道を舞台にした主演作では、北の地に生きる男の気概や人情を表現し、その比類無き存在感は、多くの人々の心をとらえ続けている。

本展は、高倉健の 3 回忌を機に、映画俳優としての全仕事を回顧し、あらためてその業績を顕彰しようとするもので、2016（平成 28）年 11 月から東京を皮切りに全国 10 カ所を巡回した。高倉健の思いが特に強かった北海道では、釧路、帯広、札幌、函館の 4 箇所を巡回した。

最大の見どころは、出演作 205 本のすべてから抜粋した高倉健出演場面の映像を、20 台超のモニターやプロジェクターで紹介。経年劣化によって視聴困難だったフィルムも、デジタル補修を施すことで、その一部をご覧いただくことが可能になった。また、高倉健が所蔵していた脚本や小道具、スチール写真、ポスター、プレスシートなど、貴重な資料を一堂に展示。時代とともに歩んだ稀代の映画俳優が、戦後の日本映画史や北海道映画史に残した大きな足跡をたどった。

道立 4 館では「おかえりなさい、健さん。北の大地へ」をキャッチフレーズとして 4 館共通ポスターや北海道ロケ地マップを作成。その他、当館では増毛町、南富良野町、夕張市など道内ロケ地取材し、SNS で会期中連日合計 45 回コラム「日々、健さん」を発信した。関連事業では、NPO 法人「北の映像ミュージアム」の協力を得て、北海道の映像遺産と高倉健の出演映画との関係を探るトークイベントを行い、観覧者の理解と関心を促した。

●図録

A4 版（30.5×21.5 cm）／255 頁

編 集：毎日新聞東京本社事業部

東京ステーションギャラリー

アヴァンティ・プラス

特別協力：高倉プロモーション

デザイン：美術出版社 デザインセンター

印刷：岡村印刷工業

発行：毎日新聞社

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チラシ／A4 判

観覧券／6.5×13.0cm 6.5×14.5cm（共通券）

デザイン：畠山尚デザイン制作室

印刷：東洋印刷株式会社

出品リスト／A3 判二つ折り（29.5×21.0 cm）（当館簡易印刷）

●作品輸送・展示

日本美術商事株式会社

●会場造作

株式会社松原建装

●関連事業

[映画上映会]

① 「鉄道員（ぽっぽや）」（112 分、16 mm）

日時：11 月 23 日（木・祝）13 時～15 時

11 月 25 日（土）10 時～12 時

会場：当館講堂

② 「南極物語」（145 分、VHS）

日時：1 月 8 日（月・祝）10 時～12 時 30 分

1 月 13 日（土）10 時～12 時 30 分

会場：当館講堂

[プレミアム・フライデー・トーク]

「北海道と高倉健ー北の＜映像遺産＞を語る」

日時：11 月 24 日（金）13 時 30 分～15 時

講師：高村賢治 氏（NPO 法人「北の映像ミュージアム」副館長）

会場：当館映像室

定 員：30 人（事前募集）
 共 催：一般社団法人北海道美術館協力会
 協 力：カエルヤ珈琲店

[北海道立近代美術館開館 40 周年記念コンサート]

「世界をめぐる音楽美術館～歌曲・オペラ・ピアノとともに～」

日 時：11 月 25 日（土） 14 時～15 時

会 場：1 階ホール

主 催：公益財団法人道銀文化財団

●主な新聞・雑誌記事等

新聞

毎日新聞

「おかえりなさい、健さん」	平成 29 年	5 月 31 日（水）	朝刊
「高倉健」の業績回顧		6 月 17 日（土）	朝刊
「北海道愛した足跡 映像で紹介」			
「追悼特別展 高倉健」		10 月 26 日（木）	朝刊
「札幌で追悼特別展 高倉健」		11 月号	おしゃべり BOX
「高倉健さん 追悼の地へ」		12 月 20 日（水）	朝刊
「高倉健さん追悼 「南極物語」 上映」	平成 30 年	1 月 1 日（日）	朝刊
		1 月 10 日（水）	朝刊

北海道新聞

「あせぬ魅力「健さん」道内巡回展」			
「札幌で追悼特別展」	平成 29 年	6 月 17 日（土）	朝刊
		11 月 22 日（水）	朝刊

朝日新聞

「出演作 205 本に見る 表現者・高倉健さん」	平成 29 年	6 月 29 日（木）	朝刊
「健さんの映画に宿る遺志」		11 月 30 日（木）	朝刊

外岡秀俊

情報誌	『グランエージ』	2017 年 9 月 30 日号
	『テレビガイド』	2017 年 7 月 7 日号
	『ポロコ』	2017 年 10 月号
	『HO』	2017 年 10 月
	『まんまる新聞』	平成 29 年 12 月 8 日

オンライン 『ウォーカープラス』 平成 29 年 9 月～
『日経プレジデント』 平成 30 年 1 月 7 日

TV・ラジオ TVh 「ゆうがたサテライト道新ミューズ」 平成 29 年 11 月 23 日

追悼特別展 高倉健

森山大道 1968年頃撮影6点(横尾忠則編『憂魂、高倉健』所収)
1973年頃撮影1点(一般社団法人森山大道写真財団捐)

(プロジェクションによる展示)

高倉健 出演映画予告篇集 (展示ディレクション 横尾忠則)

- 『網走番外地』
- 『日本俠客伝 関東篇』
- 『昭和残俠伝』
- 『網走番外地 望郷篇』
- 『昭和残俠伝 唐獅子牡丹』
- 『新網走番外地』

映像作品リスト

題名	公開年	クレジット
1956(1)	1分10秒	
電光空手打ち	1956(昭和31)	◎東映
チョップ先生	1956(昭和31)	◎東映
にっぽんGメン 特別武装班出動	1956(昭和31)	◎東映
1956(2)	1分59秒	
大学の石松 ぐれん隊征伐	1956(昭和31)	◎東映
大学の石松 太陽族に挑戦す	1956(昭和31)	◎東映
夕日と拳銃 日本篇／大陸篇	1956(昭和31)	◎東映
母孔雀	1956(昭和31)	◎東映
恐怖の空中殺人	1956(昭和31)	◎東映
1956	1分39秒	
流星空手打ち	1956(昭和31)	◎東映
大学の石松	1956(昭和31)	◎東映
拳銃を捨てろ	1956(昭和31)	◎東映
1957	3分32秒	
無敵社員	1957(昭和32)	◎東映
第十三号棧橋	1957(昭和32)	◎東映
大学の石松 女群突破	1957(昭和32)	◎東映
多情佛心	1957(昭和32)	◎東映
霧の街	1957(昭和32)	◎東映
鯨と斗う男	1957(昭和32)	◎東映
血まみれの決闘	1957(昭和32)	◎東映
ジェット機出動 第101航空基地	1957(昭和32)	◎東映
1958	3分41秒	
娘十八 御意見無用	1958(昭和33)	◎東映
多羅尾伴内 十三の魔王	1958(昭和33)	◎東映
台風息子 修学旅行の巻	1958(昭和33)	◎東映
台風息子 最高殊勲の巻	1958(昭和33)	◎東映
恋愛自由型	1958(昭和33)	◎東映

題名	公開年	クレジット
1960	3分24秒	
続べらんめえ藝者	1960(昭和35)	◎東映
大いなる旅路	1960(昭和35)	◎東映
ずべ公天使	1960(昭和35)	◎東映
大空の無法者	1960(昭和35)	◎東映
天下の怪男児 突進太郎	1960(昭和35)	◎東映
続々べらんめえ藝者	1960(昭和35)	◎東映
砂漠を渡る太陽	1960(昭和35)	◎東映
殴りこみ艦隊	1960(昭和35)	◎東映
男ならやってみろ	1960(昭和35)	◎東映
1961	2分49秒	
べらんめえ藝者罷り通る	1961(昭和36)	◎東映
俺が地獄の手品師だ	1961(昭和36)	◎東映
天下の怪男児 旋風太郎	1961(昭和36)	◎東映
男の血潮がこだまする	1961(昭和36)	◎東映
魚河岸の女石松	1961(昭和36)	◎東映
ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ藝者佐渡へ行く	1961(昭和36)	◎東映
万年太郎と姐御社員	1961(昭和36)	◎東映
ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ中乗りさん	1961(昭和36)	◎東映
1959-1962	4分41秒	
静かなる兇弾	1959(昭和34)	◎東映
天下の怪男児 万年太郎	1960(昭和35)	◎東映
二発目は地獄行きだぜ	1960(昭和35)	◎東映
花と嵐とギャング	1961(昭和36)	◎東映
悪魔の手毬唄	1961(昭和36)	◎東映
二・二六事件 脱出	1962(昭和37)	◎東映
恋と太陽とギャング	1962(昭和37)	◎東映

季節風の彼方に	1958(昭和33)	◎東映
奴の拳銃は地獄だぜ	1958(昭和33)	◎東映
ひばりの花形探偵合戦	1958(昭和33)	◎東映
空中サーカス 嵐を呼ぶ猛獣	1958(昭和33)	◎東映
希望の乙女	1958(昭和33)	◎東映
娘の中の娘	1958(昭和33)	◎東映
1957-1958	3分7秒	
喧嘩社員	1957(昭和32)	◎東映
青い海原	1957(昭和32)	◎東映
非常線	1958(昭和33)	◎東映
森と湖のまつり	1958(昭和33)	◎東映
1959	3分33秒	
旋風家族	1959(昭和34)	◎東映
無法街の野郎ども	1959(昭和34)	◎東映
黒い指の男	1959(昭和34)	◎東映
獣の通る道	1959(昭和34)	◎東映
漂流死体	1959(昭和34)	◎東映
地獄の底までつき合うぜ	1959(昭和34)	◎東映
疑惑の夜	1959(昭和34)	◎東映
高度7000米 恐怖の四時間	1959(昭和34)	◎東映
空港の魔女	1959(昭和34)	◎東映

題名	公開年	クレジット
1964	3分12秒	
東京ギャング対香港ギャング	1964(昭和39)	◎東映
宮本武蔵 一乗寺の決斗	1964(昭和39)	◎東映
ならず者	1964(昭和39)	◎東映
暗黒街大通り(ルビ:メインストリート)	1964(昭和39)	◎東映
日本俠客伝	1964(昭和39)	◎東映
狼と豚と人間	1964(昭和39)	◎東映
いれずみ突撃隊	1964(昭和39)	◎東映
1965	3分46秒	
顔役	1965(昭和40)	◎東映
飢餓海峡	1965(昭和40)	◎東映
続網走番外地	1965(昭和40)	◎東映
日本俠客伝 関東篇	1965(昭和40)	◎東映
宮本武蔵 巖流島の決斗	1965(昭和40)	◎東映
昭和残俠伝	1965(昭和40)	◎東映
網走番外地 望郷篇	1965(昭和40)	◎東映
網走番外地 北海篇	1965(昭和40)	◎東映
1966	3分46秒	
日本俠客伝 血斗神田祭り	1966(昭和41)	◎東映
網走番外地 荒野の対決	1966(昭和41)	◎東映
カミカゼ野郎 真昼の決斗	1966(昭和41)	◎東映
男の勝負	1966(昭和41)	◎東映
昭和残俠伝 一匹狼	1966(昭和41)	◎東映
網走番外地 南国の対決	1966(昭和41)	◎東映
地獄の掟に明日はない	1966(昭和41)	◎東映
網走番外地 大雪原の対決	1966(昭和41)	◎東映

東京丸の内	1962(昭和37)	◎東映
1962	3分3秒	
南太平洋波高し	1962(昭和37)	◎東映
べらんめえ芸者と大阪娘	1962(昭和37)	◎東映
千姫と秀頼	1962(昭和37)	◎東映
黄門社長漫遊記	1962(昭和37)	◎東映
民謡の旅シリーズ 桜島 おてもやん	1962(昭和37)	◎東映
三百六十五夜	1962(昭和37)	◎東映
暗黒街最後の日	1962(昭和37)	◎東映
東京アンタッチャブル	1962(昭和37)	◎東映
遊民街の銃弾	1962(昭和37)	◎東映
裏切り者は地獄だぜ	1962(昭和37)	◎東映
1963	3分42秒	
暗黒街の顔役 十一人のギャング	1963(昭和38)	◎東映
第八空挺部隊 壮烈鬼隊長	1963(昭和38)	◎東映
東京アンタッチャブル 脱走	1963(昭和38)	◎東映
最後の顔役	1963(昭和38)	◎東映
親分(ルビ:ボス)を倒せ	1963(昭和38)	◎東映
暗黒街最大の決斗	1963(昭和38)	◎東映
宮本武蔵 二刀流開眼	1963(昭和38)	◎東映
恐喝	1963(昭和38)	◎東映

題名	公開年	クレジット
1970	4分19秒	
日本女俠伝 真赤な度胸花	1970(昭和45)	◎東映
博徒一家	1970(昭和45)	◎東映
捨て身のならず者	1970(昭和45)	◎東映
日本ダービー 勝負	1970(昭和45)	◎東映
遊俠列伝	1970(昭和45)	◎東映
新網走番外地 大森林の決斗	1970(昭和45)	◎東映
昭和残俠伝 死んで貰います	1970(昭和45)	◎東映
最後の特攻隊	1970(昭和45)	◎東映
日本俠客伝 昇り龍	1970(昭和45)	◎東映
新網走番外地 吹雪のはぐれ狼	1970(昭和45)	◎東映
1971	3分52秒	
日本やくざ伝 総長への道	1971(昭和46)	◎東映
日本女俠伝 血斗乱れ花	1971(昭和46)	◎東映
日本俠客伝 刃(ルビ:ドス)	1971(昭和46)	◎東映
ごろつき無宿	1971(昭和46)	◎東映
新網走番外地 嵐呼ぶ知床岬	1971(昭和46)	◎東映
昭和残俠伝 吼えろ唐獅子	1971(昭和46)	◎東映
任俠列伝 男	1971(昭和46)	◎東映
新網走番外地 吹雪の大脱走	1971(昭和46)	◎東映
1972	2分22秒	
純子引退記念映画 関東緋桜一家	1972(昭和47)	◎東映
望郷子守唄	1972(昭和47)	◎東映
博奕打ち外伝	1972(昭和47)	◎東映
新網走番外地 嵐呼ぶダンプ仁義	1972(昭和47)	◎東映
昭和残俠伝 破れ傘	1972(昭和47)	◎東映

1967	3分59秒	
日本俠客伝 白刃の盃	1967(昭和42)	©東映
網走番外地 決斗零下30度	1967(昭和42)	©東映
あゝ同期の桜	1967(昭和42)	©東映
昭和残侠伝 血染の唐獅子	1967(昭和42)	©東映
網走番外地 悪への挑戦	1967(昭和42)	©東映
日本俠客伝 斬り込み	1967(昭和42)	©東映
俠客の掟	1967(昭和42)	©東映
網走番外地 吹雪の斗争	1967(昭和42)	©東映
1963-1965	6分12秒	
暴力街	1963(昭和38)	©東映
人生劇場 飛車角	1963(昭和38)	©東映
鬼検事	1963(昭和38)	©東映
ジャコ萬と鉄	1964(昭和39)	©東映
日本俠客伝 浪花篇	1965(昭和40)	©東映
網走番外地	1965(昭和40)	©東映
1966-1970	5分14秒	
昭和残侠伝 唐獅子牡丹	1966(昭和41)	©東映
日本俠客伝 雷門の決斗	1966(昭和41)	©東映
俠骨一代	1967(昭和42)	©東映
緋牡丹博徒	1968(昭和43)	©東映
日本俠客伝 花と龍	1969(昭和44)	©東映
燃える戦場 Too Late The Hero	1970(昭和45)	©Associates &Aldrich Company / Palomar Pictures / ABC Pictures
1968	4分17秒	
日本俠客伝 絶縁状	1968(昭和43)	©東映
獄中の顔役	1968(昭和43)	©東映
荒野の渡世人	1968(昭和43)	©東映
俠客列伝	1968(昭和43)	©東映
ごろつき	1968(昭和43)	©東映
人生劇場 飛車角と吉良常	1968(昭和43)	©東映
祇園祭	1968(昭和43)	©日本映画復興協会
博徒列伝	1968(昭和43)	©東映
新網走番外地	1968(昭和43)	©東映
1969	4分33秒	
緋牡丹博徒 花札勝負	1969(昭和44)	©東映
昭和残侠伝 唐獅子仁義	1969(昭和44)	©東映
緋牡丹博徒 二代目襲名	1969(昭和44)	©東映
戦後最大の賭場	1969(昭和44)	©東映
懲役三兄弟	1969(昭和44)	©東映
日本女侠伝 俠客芸者	1969(昭和44)	©東映
新網走番外地 流人岬の血斗	1969(昭和44)	©東映
日本暗殺秘録	1969(昭和44)	©東映
昭和残侠伝 人斬り唐獅子	1969(昭和44)	©東映
渡世人列伝	1969(昭和44)	©東映
新網走番外地 さいはての流れ者	1969(昭和44)	©東映

1973-1975	5分50秒	
山口組三代目	1973(昭和48)	©東映
現代任侠史	1973(昭和48)	©東映
ゴルゴ13	1973(昭和48)	©東映
三代目襲名	1973(昭和48)	©東映
無宿(やどなし)	1973(昭和48)	©1974 東宝
ザ・ヤクザ The Yakuza	1974(昭和49)	©1975/Renewed©2003 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved
日本任侠道 激突篇	1975(昭和50)	©東映
大脱獄	1975(昭和50)	©東映
神戸国際ギャング	1975(昭和50)	©東映
1975-1978	6分37秒	
新幹線大爆破	1975(昭和50)	©東映
八甲田山	1977(昭和52)	©橋本プロ／東宝／シナノ企画
幸福の黄色いハンカチ	1977(昭和52)	©松竹
野性の証明	1978(昭和53)	©KADOKAWA 1978
1976-1980	4分11秒	
君よ憤怒の河を渉れ	1976(昭和51)	©KADOKAWA 1976
冬の華	1978(昭和53)	©東映
動乱 第1部 海峡を渡る愛／ 第2部 雪降り止まず	1980(昭和55)	©東映・シナノ企画
遙かなる山の呼び声	1980(昭和55)	©松竹
1982-1985	4分13秒	
刑事物語	1982(昭和57)	©1982 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN
海峡	1982(昭和57)	©1982 東宝
南極物語	1983(昭和58)	©フジテレビ／学研／蔵原プロ
居酒屋兆治	1983(昭和58)	©1983 東宝
夜叉	1985(昭和60)	©1985 東宝
1988-2001	2分11秒	
海へ ―See you―	1988(昭和63)	©1988 東宝
あ・うん	1989(平成元)	©1989 東宝
ミスター・ベースボール Mr. Baseball	1993(平成5)	©UNIVERSAL CITY STUDIOS, INC.
四十七人の刺客	1994(平成6)	©東宝／日本テレビ放送網／電通アドギア
ホテル	2001(平成13)	©2001「ホテル」製作委員会
1981-2012	7分56秒	
駅 STATION	1981(昭和56)	©1981 東宝
ブラック・レイン BLACK RAIN	1989(平成元)	©1989 BY Paramount Pictures Corporaion. All Rights Reserved.
鉄道員(ぽっぽや)	1999(平成11)	©1999「鉄道員(ぽっぽや)」製作委員会
単騎、千里を走る。	2006(平成18)	©2005 Elite Group (2004) Enterprises Inc.
あなたへ	2012(平成24)	©2012「あなたへ」製作委員会

ケース内資料リスト

資料名	種別	数量
横尾忠則編『憂魂、高倉健』	書籍	1
東映の身分証明書	書類	1
電光空手打ち	脚本	1
流星空手打ち	脚本	1
	梗概	1
大学の石松	脚本	1
	脚本(準備用)	1
夕日と拳銃	脚本	1
恐怖の空中殺人	脚本	1
無敵社員・喧嘩社員	脚本	1
	香盤	1
鯨と斗う男	脚本(『龍巻』)	1
非常線	脚本	1
霧の街	脚本	1
空中サーカス	脚本(『サーカス物語』)	1
季節風の彼方に	スチール	1
二発目は地獄行きだぜ	カラースチール	2
無法街の野郎ども	スチール	1
旋風家族	スチール	1
空港の魔女	スチール	1
天下の快男児 万年太郎	カラースチール	1
大空の無法者	スチール	1
殴り込み艦隊	スチール (1枚は台紙貼付)	3
続べらんめえ藝者	カラースチール	1
天下の快男児 突進太郎	カラースチール	1
非常線	梗概	1
青い海原	梗概	1
人生劇場 飛車角	スチール	4
暴力街	スチール	6
遊民街の銃弾	スチール	7
飢餓海峡	パンフレット	1
日本俠客伝	脚本(準備用)	1
網走番外地	スチール	4
昭和残俠伝	スチール	1
網走番外地 望郷篇	スチール	1
昭和残俠伝 唐獅子牡丹	アルバム	1
	スチール	1
俠骨一代	スチール	4
荒野の渡世人	スチール	1
日本俠客伝 花と龍	スチール	3

資料名	種別	数量
新幹線大爆破	脚本	1
	スチール	2
幸福の黄色いハンカチ	脚本	1
	脚本(準備稿)	1
	スチール	1
君よ憤怒の河を渉れ	脚本	1
	スチール	1
八甲田山	脚本	1
	パンフレット	1
	パンフレット	1
	プレスブック	1
冬の華	脚本	1
	脚本(『HIDEJI』)	1
	スチール	1
駅 STATION	脚本	1
あ・うん	脚本	1
南極物語	脚本	1
	企画書 「タロとジロは生きていた」	1
ホテル	脚本	1
	スチール	1
単騎、千里を走る。	脚本	1
	スチール	1
	映画で使用した笛	1
	脚本	1
	脚本(決定稿)	1
あなたへ	脚本(撮影稿)	1
風に吹かれて	脚本	1
	脚本	1
鉄道員	パンフレット	1
	厚紙折り畳みチラシ	1
海へ ―See you―	ロケで使したトランク	1

任侠列伝 男	脚本	1
	梗概	1
	スタジオ・メール	1
	大判モノクロフ라이어	1
	スチール	2
関東緋桜一家	脚本	1
	スタジオ・メール	1
	大判モノクロフ라이어	1
	スチール	3
望郷子守唄	脚本	1
	スタジオ・メール	1
	大判モノクロフ라이어	1
	スチール	3
ザ・ヤクザ	脚本	1
無宿	脚本	1
	フライヤー	1
ゴルゴ13	脚本	1
	映画で使ったのと同型のサングラス	1

壁面展示資料リスト

映画題名	種別
東映入社の頃	スチール
東映入社の頃	スチール
電光空手打ち1	ポスター(複製)
電光空手打ち1	スチール
大学の石松4	ポスター(複製)
につぼんGメン 特別武装班出動5	スチール
大学の石松 太陽族に挑戦す7	ポスター(複製)
母孔雀9	スチール
拳銃を捨てろ10	スチール
恐怖の空中殺人11	スチール
第十三号棧橋14	スチール
青い海原19	ポスター(複製)
青い海原19	スチール
血まみれの決闘20	スチール
非常線26	ポスター(複製)
非常線26	スチール
森と湖のまつり33	ポスター(複製)
旋風家族36	スチール
黒い指の男37	スチール
獣の通る道38	ポスター(複製)
静かなる兇弾42	ポスター
静かなる兇弾42	スチール
高度7000米 恐怖の四時間43	スチール

映画題名	種別
ごろつき無宿164	ポスター
昭和残侠伝 吼えろ唐獅子166	スチール
博奕打ち外伝171	スチール
新網走番外地 嵐呼ぶダンプ仁義172	ポスター
現代仁侠史175	ポスター
ゴルゴ13 176	スチール
無宿(やどなし)178	ポスター
無宿(やどなし)178	スチール
新幹線大爆破182	スチール
神戸国際ギャング183	ポスター
君よ憤怒の河を渉れ184	ポスター
幸福の黄色いハンカチ186	ポスター
野性の証明188	スチール
横尾忠則 KEN TAKAKURA	ポスター
遙かなる山の呼び声190	スチール
駅 SATION 191	スチール
ブラック・レイン BLACK RAIN 198	ポスター
ブラック・レイン BLACK RAIN 198	スチール
あ・うん199	スチール
あ・うん199	ポスター
鉄道員(ぽっぽや)202	ポスター
あなたへ205	スチール
フィルムの経年劣化とその修復・保存 (パネル展示)	

二発目は地獄行きだぜ46	スチール
続べらんめえ藝者47	スチール
大いなる旅路48	スチール
男ならやってみろ55	スチール
べらんめえ藝者罷り通る56	スチール
天下の快男児 旋風太郎58	スチール
花と嵐とギャング61	ポスター
恋と太陽とギャング69	ポスター
東京丸の内73	スチール
恋と太陽とギャング69	スチール
暗黒街最後の日75	スチール
遊民街の銃弾77	スチール
暗黒街最大の決斗86	スチール
ギャング忠臣蔵89	スチール
ならず者94	ポスター
日本俠客伝96	スチール
いれずみ突撃隊98	ポスター
昭和残俠伝106	スチール
網走番外地 望郷篇107	ポスター
網走番外地 望郷篇107	スチール
昭和残俠伝 唐獅子牡丹109	スチール
日本俠客伝 血斗神田祭り110	スチール
カミカゼ野郎 真昼の決斗112	ポスター
網走番外地 南国の対決115	スチール
昭和残俠伝 血染の唐獅子122	スチール
網走番外地 吹雪の斗争127	スチール
俠客列伝131	ポスター
緋牡丹博徒132	スチール
緋牡丹博徒 花札勝負138	ポスター
戦後最大の賭場141	ポスター
昭和残俠伝 人斬り唐獅子147	スチール
新網走番外地 さいはての流れ者149	ポスター
捨て身のならず者152	ポスター
遊俠列伝154	ポスター
新網走番外地 大森林の決斗155	ポスター
燃える戦場 Too Late The Hero157	ポスター
日本女俠伝 血斗乱れ花162	ポスター

2_3 展覧会③貸館

◆貸館一覧

当館では貸館事業として道内・外の公募団体、報道機関等に対し特別展示室及び講堂等の会場提供を行っており、公募展や全国組織による道内巡回展、また文化芸術に関わる催しに利用されている。

本年は、展示室 B については年間開催日数 241 日間のうち 98 日間（40.7%）を、主催者の希望する開催時期にあわせて調整のうえ貸し出した。その利用状況は次のとおりとなっている。また、講堂については 15 件の催しに対し 17 日間会場を貸し出した。

展覧会名	主催者名	会期	開催日数	観覧者数	1 日平均 観覧者数
レオナルド・ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展 ～日本初公開 「タヴォラ・ドーリア」の謎～	HBC 北海道放送	2017（平成 29）年 06 月 22 日（木） ～ 08 月 15 日（火）	47	97,391	2,072
天竺社 50 周年記念展		2017（平成 29）年 10 月 22 日（日） ～ 10 月 29 日（日）			
天竺社 50 周年記念展 行委員会					
STV 創立 60 周年記念「わだば、 ゴッホになる。」棟方志功展	STV 札幌テレビ放送	2018（平成 30）年 02 月 03 日（土） ～ 03 月 25 日（日）	44	48,008	1,091
合 計			98	147,894	1,509